

米國海上法 第四卷

寫本
米國海上法
第八百八十八號
第三號
甲四冊內

第六號
第一架
第七

省司法
第三六號
寄贈圖書文庫

B 853
S 1
5-1a



B851
SI-5
1 d

Handwritten notes on a small white slip of paper, including the number 112 and some illegible characters.

司浩省
記錄
軍

司法部記錄文庫

保
第八百八十八號
社
三
冊
ノ
〇
〇

朱國海

司法部

B 853
S 1
5-1d

英國ノ海上裁判所ニ於テハ數年ノ間此裁判權ヲ行フヲ禁セラレシト雖モ然レモ以權ノ契約ノ全ク海上ニ関スル契約ニ屬スルモノニシテ海上裁判所ニ於テ其執行ヲ受クルヲ得ルモノニ係ルコトハ充分能ク決定スル所ナリ是レ亦一ニ上等裁判所ニ於テゼララルスミス氏ノ訴訟ニ就テ判決セシ所ノモノニシテ判事ストヨリ一氏ハ其判決ヲ為スニ當リ左ノ所説ヲ申明セリ曰ク海上裁判所ニ於テ必要物ノ供給者ニ関スル訴訟ノ一般ノ裁判權アルコトハ當裁判所ニ於テモ認定シテ毫モ疑ヒヲ容レサル所ナリ故ニ若シ本訴ノ果シテ人權ニ関スル訴訟ニ係リシニ於テハ何ソ遲滯シテ其判決ヲ停止セサル

司法省

ノ理ナカル可シト其他此判例ニ從テ判決セシ訴訟數多アリ即チゼララルスミス氏ノ訴訟ホイトン氏ノ判決録亦四卷ノ四百三十八葉參觀テロウキヲ氏ヨリポイト氏ニ對スル訴訟ゴール氏判決録亦二卷ノ三百九十八葉參觀ヘールトヨリウアシントン保險會社ニ對スル訴訟ストヨリ一氏判決録亦二卷ノ百七十六葉參觀セツパルド氏ヨリテロル氏ニ對スル訴訟ベツテ一氏判決録亦五卷ノ六百七十五葉參觀ラニソル氏ヨリウヘツガ氏ニ對スル訴訟ソゾニ氏判決録亦四卷ノ三百八十葉參觀ペイローラクス氏ヨリホウアード氏ニ對スル訴訟ベツテ一氏判決録亦七卷ノ三百二十四葉參觀ガウ

井ス氏ヨリ西桅船ギルカ号ニ對スル訴訟同上
四百七十七葉參觀ハルベル氏ヨリ同一ノ西桅
船ニ對スル訴訟同上五百四十葉參觀子ストル
氏ノ訴訟サシウイル氏判決録才一卷ノ七十三
葉參觀ロバルト、ファルトン氏ノ訴訟メイリン
氏判決録第一卷ノ六百二十葉參觀シント、ジャ
ゴ、デ、キウバ氏ノ訴訟ホイトン氏判決録才九
卷ノ四百九葉參觀ラムセー氏ヨリアルレガル
氏ニ對スル訴訟同上ノ十二葉及ヒ六百十一葉
參觀ゼイトン氏ヨリ大統領ニ對スル訴訟ウア
シントン氏判決録才四卷ノ四百五十三葉參觀
アレキサンダル氏ノ訴訟ダブリウ、ロブ氏ノ判
決録才一卷ノ二百八十八葉參觀是レナリ若シ

司 法 省

必要物ニ関スル負債ノ法律上之レニ関スル如
何ナル法律ニモアラス若クハ契約上其必要物
ヲ供給セシ船舶ヲ差押ユルノ權アル時ハ其船
船ニ對シ物權ニ関スル訴訟ヲ提起スルヲ得可
ク又ハ斯ル負債ハ如何ナル際ニ在テモ人權ニ
関スル訴訟ヲモ提起スルヲ得可シ
爰ニ羅馬法ニ拠ルニ何人ニ依ラス船舶ヲ建造
シ或ハ之レニ修理ヲ加ヘ或ハ必要物ヲ供給ス
ル者ハ其船ノ建造或ハ保存必要物等ニ付約シ
タルモノノ負債ト为リタル金高ノ为メ其船舶
ヲ差押ユルノ權利ヲ有セリ然シテ此規則ハ各
國ノ海上律中ニ之ヲ引用セシヨリ終ニ一般ノ
海上律上之能ク決定セル規則ト为リ英國ノ海

上裁判所、如キモ才ニ世ナヤレヌ帝ノ治世ニ至ル迄ハ教百年ノ間之ヲ遵守セシカスル差押ノ權ハ該帝ノ治世ニ至テ法律裁判所ノ否拒スル所ト为リ然レテ唯ク船舶ノ器械者、ニ現ニ其船舶ヲ保有スルノ一事ヨリシテ慣例法上其差押ノ權アルモノトセリ元来海上ノ差押權ナルモノハ物品ノ保有ト其有無ヲ共ニスルモノニアラス又ハ其保有ヨリシテ生スルモノニモアラス全ク海上ノ通商貿易ノ使用ニ供スル船舶ニ加ヘタル處分及ヒ有益ノ使役等ヨリシテ生スルモノニシテ之ヲ称シテ船主ノ利益ト为ルモノト云フモ敢テ不可ナルカレ可シ是レニ依テ之レヲ觀ル時ハ何人ニ依ラス斯ル處分使

司法省

役等ヲ为シタル者ハ其時間ノ長短ヲ論ビス一人トシテ其權利ノアラサル者アルノ理ナカル可シ

又爰ニ羅馬法一般ノ海上律及ヒ各國ノ海上法等ニ拠ルニ各々共ニ外国船ト内國船トノ區別ナク總テノ船舶ニ至ル迄此差押權ヲ擴張シテ一モ其例外ニ屬スルモノナシ然シテ外国船ト内國船トハ公理正道上果シテ彼我ノ區別アル可キヤ之ヲ講究スルハ實ニ難事ト云フ可シ何トナレハ若シ甲船ノ果シテ一艘ノ船舶タル時ハ乙船モ亦一艘ノ船舶タル可ク又ハ若シ甲者ノ契約ノ果シテ海上ニ関スル契約タルニ於テハ乙者ノ同一ノ契約モ亦否ラサルノ理ナカル

可ク又ハ若シ法律道理上甲者ノ訴訟ニ於テ差
押ノ權アルモノトスル時ハ乙者ノ同一ノ訴訟
ニ於テモ亦然ル可キヲ以テナリ然シテ元來差
押權ノ船舶ニ付テ生スルハ全ク其船舶ニ使役
勞力等ヲ加ヘ或ハ必要物食料等ヲ供給シ又其
船舶ノ一部ニ加ヘタルモノニ付テハ之ヲ以テ
其船舶ニ便益ヲ供給セルニ是レ依ルト雖モ尚
ホゼ子ラル、スミス氏ノ訴訟ニ於テハ合衆國ノ
大審院ニ於テ荒漠タル區別ヲ爲シ然シテ之ヲ
判決シテ内國船ハ苟クモ之レニ其必要物等ヲ
供給セシ本州ノ地方ノ法律中別段規定スルニ
アラサルヨリハ何人ニ依ラス之ヲ差押ユルノ
權アラサルモノトセリ爾來此區別ヲ遵守シ此

司法省

判例ニ從テ數多ノ訴訟ヲ判決セシヨリ此判例
ハ能ク決定シテ終ニ米國海上裁判所ノ法律ノ
一部ト爲ルニ至リシノミナラス尚ホ且海上ノ
差押ニ関スル訴訟ノ其差押權ヲ諸州ノ法律中
ニ規定スルモノハ大審院ニ於テ之ヲ擯却シテ
其審判ヲ爲スヲ肯セザリシヲアリ然レモ思フ
ニ若シ將來斯ル訴訟ヲ大審院ト提起スル者ア
リテ該院ニ於テ亮分弁論討論ヲ盡シテ能ク之
ヲ講究スルニ於テハ蓋シ外國船ト内國船間ノ
區別又ハ諸州ノ法律中ニ定メタル差押權ト海
上律上ノ差押權トノ區別等ハ一モ之ヲ以テ米
國海上裁判所ノ法律ト爲スニ足ラサルヲ省
破スルニ至ル可キハ深ク信シテ毫モ疑ヒヲ容

レサル所ナリ何トナレハ海上律ニ於テハ一モ
斯ル區別アラサルヲ以テナリ是レ彼ノトヲマ
ス、ゼフアルソン氏ノ所説ハ数十年ノ間判例ト
ナリテ世ニ行ハレシト虽氏今ヤ全ク廢物ニ屬
シ然シテ大審院ニ於テハ彼ノウアルラス氏ノ
判決録亦七卷ノ六百三十九葉中ニ掲ケタルバ
ルフアスト氏ノ訴訟ニ於テ之レヲ称シテ奇異
ナル所説ト云フニ至リシヲ以テ徵スルニ足ル
可ク蓋シ此判例ノ如キ將來ニ至ラハ世人ノ全
ク之ヲ明知セサルニ至ル可シ加之船主ノ住所
ト虽氏其海上ノ條件ニ関スルハ潮水ノ干満其
他彼ノロルド、エー、タ氏ノ時代ニ於テ口實トセ
シモノ、如キモノニ比スルモ尚ホ其關係ノ少

司法省

ナキモノ、如クナルヲ以テナリ固ヨリ大審院
ノ因テ以テ判決セシモノハ全ク英國ニ於ケル
判例ト異ナリト虽氏蓋シ英國ニ於ケル法律裁
判所ノ判決ノ暗ニ我カ大審院、裁決上ニ多少影
響ヲ及ホセシハ敢テ疑ヒヲ容レサル所ナリ故
ニ大審院ニ於テハ内國船ノ差押權ヲ以テ其船
船ノ附屬スル地方ノ法律ニ屬シテ該法律ヲ以
テ執行ス可キトノ判決ヲ為シタルモノ、如シ
然シテ地方ノ立法官タル者ノ一般ノ海上律上
ノ規則ヲ廢棄シ或ハ改正スルノ權アルトハ未
タ曾テ一モ其判例アラサルノミナラス及テ判
事ストヲリ、氏ノ判決ニ係ル反對ノ判例アリ
是レニ由テ之ヲ觀レハ地方ノ立法官タル者ハ

仮令其地方ノ人民間ニ関スル地方裁判所ノ法律ト為ス可キモノヲ公布スルノ権アルモ合流國裁判所ト提起ス可キ海上航海ノ裁判権内ニ属スル訴訟ニ関スル合衆國ノ法律ト為ス可キモノハ一モ之ヲ公布スルノ権アラサルハ瞭トシテ觀ルカ如キナリ

若シ理論上ヨリシテ論スルハ船舶ハ諸州共ニ之ヲ其本州ノ船舶トシテ有スルモノアラズ總テノ船舶ハ合流國ノ船舶ニシテ又米國船タルモノハ總テ内國船タルトハ固ヨリ論ヲ待タサルナリ又其船舶ノ附屬スル本港ノ如キハ諸州又ハ其他ノ區域ニ屬モ關係アルモノニアラスシテ唯タ其港内若クハ其接近ノ地ニ於テ若

司法省

シ其船主ノ唯一名ナル時ハ其船主若クハ一名以上ナル時ハ船主總代人ノ住居スル港ニ過キサルナリ是ヲ以テ觀ル時ハ此等ノ諸港ハ諸州ノ港ニアラスシテ全ク合衆國ノ港タルニ依リ諸州ニ於テハ一モ海上航海ノ裁判権ヲ有スルノ理ナカル可ク又諸州ノ某事ニ付テハ各々他州ニ對シテ互ニ外國タルニ異ナルナキモ合衆國ニ對シテハ全ク然ルニアラサルナリ通常船舶ハ之ヲ數株ニ分ツテ數名ノ人員ニテ之ヲ所有スルモノニシテ此等ノ人口ハ其所有ノ一事ヲ除クノ外ハ互ニ社員タルノ關係ニ居ルモノニアラス(原註)船舶ノ持主ハ通常供用ノ借守人ニ異ナルトナシト雖モ尚ホ其航海或ハ

遠行等ニ就テハ其船舶並ニ船貨等ニ付船主間ニ別段ノ所有アルヲアル可シトスマンヲアルド氏ヨリニコール氏ニ對スル訴訟ノ判決ジヨシス氏判決録才二十卷、六百十一葉參觀然シテ船舶ノ使用上ニ付テ船主間ニ爭論ノ起ルヲ律々之レアリ斯ル際ニ在テハ一方ノ船主ハ他ノ一方ノ船主ニ抵当物ヲ提供シテ其船舶ヲ使用スルヲ得ルモノニシテ其船ノ株主間ノ法律ヲ執行シ又ハ一方ノ株主ヲシテ他ノ一方ノ株主ヨリ求メテ受ケタル抵当物ヲ提供セシムル等ノ裁判權ハ全ク海上裁判所ノ權内ニ屬スルモノナリ又ハ其船舶ヲ分配スル為メ之ヲ羅賣ニ附スル權ノ如キモ英國ヲ除クノ外其他歐洲

司法省

各國ノ海上裁判所ニ於テ有スル如ク亦英國ノ海上裁判所ノ權内ニ屬スルモノナリ又海上裁判所ニ於テハ船舶ノ持主若クハ現有者トシテ此等ノ者ニ關スル條件ハ總テ其裁判權ヲ有スルモノナリ然シテ此裁判權ハ其中ニ殆ト各種ノ數多ノ訴訟ヲ包含スルモノニシテ即チ船長ノ其船長タル資格ヲ以テ犯カシタル枉害及ヒ其結ヒタル契約等ハ船主其責メニ任セサル可カラズ又如何ナルモノヲ問ハス船舶ノ差押權アルモノニ付テハ船主其差押ヲ免カル、勿ノ其船舶ノ價額ニ至ル迄又ハ某際ニ在テハ其討求ノ全額ニ至ル迄其責メニ任セケル可カラズ又船主等ノ其船主タルノ資格ヲ以テ

各々連帯シテ結ヒタル契約ハ船主各々亦三ノ
人ニ對シテ其連帯ノ責任ニ任セサル可カラサ
ルモノニシテ總テ此等ノ訴訟ハ海上航海ノ
裁判權内ニ屬スルモノナリ

其他海上裁判所ニ於テハ所有收回ノ訴訟所有
權收回ノ訴訟及ヒ船主ヨリ船長ノ免黜ヲ討求
スル訴訟等ノ裁判權モ亦之ヲ有スルモノナリ
所有收回ノ訴訟トハ原告人ノ之ヲ以テ海上ノ
權利ヨリシテ已レノ所有ニ歸スルノ權ナル船
舶或ハ其他ノ財産ヲ收復スル訴訟ヲ示スモノ
ニ係リテ此等ノ訴訟ハ慣例法上ノ所謂物呂収
回或ハ強留等ノ訴訟ニ異ナルヲナク唯々其彼
我ノ異ナル所以ノモノハ一ハ其討求スル財産

司法省

ヲ收復スルト一ハ損害ノ賠償ヲ受クルト一
事ニ過キサルナリ然シテ此等ノ訴訟ハ之ヲ以
テ船舶ヲ所有スル權利ノ有無ヲ審問ニ附シテ
船長若クハ船主ノ其所有ヲ收復スル為メ船主
ヨリ提起スルモノトス但シ英國ノ海上裁判所
ニ於テハ斯ル訴訟ノ裁判權ヲ行フヲ禁セラレ
然シテ其權内ニ屬スルモノハ唯々其船舶ノ合
法ノ所有証書ヲ有スル者ノ其所有ヲ討求スル
訴訟ニ限レルモノトス故ニ船舶ノ現有者ノ權
利ノ復令爭論ニ係ルヲアルモ該國ノ海上裁判
所ニ於テハ之レカ裁決ヲ為サ、ル可シ然レモ
我カ米國國ニ在テハ總テ此等ノ訴訟ノ海上裁
判所ノ權内ニ屬スルヲハ能ク決定スル所ナリ

モルロイ氏曰ク元来船舶ハ之ヲ以テ城壁ト為
スニアラスシテ全ク海上ヲ開墾スルノ使用ト
便益トニ供スル為メ發明セシモノトスト抑々
船舶ハ其建造ヲ終ハリテ艤装ヲ為シタル後其
力一ニ必要ナルモノハ之ヲ進航ス可キ船舶ノ
船員ニシテ若シ此等船員ノ強力、知識、熟練、勇敢
等ニ依ルニアラスンハ船舶ハ空シク埠頭ニ於
テ腐朽スルカ若クハ破壊スルノ外ナカル可シ
然レテ船舶ハ最モ危険ニシテ且強猛ナル元質
ノ動作ニ依テ運行スルモノニ係ルモ若シ之ヲ
老練熟達ナル海員ノ管理ニ属スル時ハ其外形
ノ美麗ト運轉ノ恩惠トニ依テ安全ニ運行ス可
シト虽モ若シ夫レ其管理ヲ不練不熟ナル陸員

司法省

ノ手ニ委任スル時ハ一夕ニ危難ニ遭遇スレハ
ナキ海上ノ生贖ト为リテ其成功ハ唯々其船舶
ノ破壊ヲ促カスニ過キサル可シ故ニ船員ノ使
彼ナルモノハ海上ノ使役中凡ソ之レヨリ貴重
ニシテ且名誉ナルモノナカル可ク然レテ此等
航海者ノ給料ニ関スル訴訟ノ裁判權ノ海上裁
判所ノ権内ニ属スルハ固ヨリ能ク決定スル
所ニシテ數百年間ノ判例ハ一トシテ否ラスト
スルモノナシ然レニ海上裁判所ノ裁判權ヲ嫉
悪スル一層狂妄ナル敵者ハ他ノ數多ク訴訟ニ
於ケルモノト共ニ此訴訟ノ裁判權モ亦其権内
ヨリ収奪セラレシモノト了解セシヨリ海上裁
判所ニ訴シテ此等訴訟ノ裁判權ヲ保守セシム

ルハ全ク實際已ムヲ得ス或ハ方畧上ノ習慣ニ
依ルモノトセリ然レモ我カ米國ニ在テハ此裁
判權ノ海上裁判所ノ權内ニ屬スルトハ全ク能
ク確定スル所ニシテ總テ航海者ノ給料ニ関ス
ル訴訟ハ海上ニ関スル訴訟ニシテ海上裁判所
ノ權内ニ屬スルモノナリ然レテ此訴訟中ニハ
鯨獵、海豹獵、魚獵等ノ航海、食料ノ討求治療ノ費
用等ニ関スルモノモ亦其中ニ包含スルモノニ
シテ此等ハ總テ給料ニ屬スルモノナリ但シ英
國ニ在テモ亦今上女帝ノ治世中頒布セル決議
ニ依リ該國ノ海上裁判所ノ裁判權ヲシテ此等
ノ訴訟ニ至ル迄之ヲ擴張セリ

司法省

ノ又ハ航海ノ目的ヲ達スル為メ航海中船中ニ
雇入レタル諸人ヲ包含スルノ語ニ係リテ船長
副船長、水手、測量者、船匠、桶匠、管食者、庖人、船室ノ
給仕人、厨房小使、器械者、水先人、火夫、甲板看守人
附從者等ハ其男女タルヲ問ハズ一人トシテ航
海者ニアラサルナシ

總テ國家ノ官船ノ航海者ハ其官船ニ對シテ海
上裁判所トシテ訴訟ヲ提起スルヲ得ス然ル所以ノ
理由ハ他ナシ何人ニ依ラス政府或ハ皇帝ハ之
ヲ告許シ能ハサルヲ以テナリ是レ裁判所ニ於
テ其裁判權ヲ有セサルカ為メ敢テ然ルニアラ
ス全ク政府或ハ皇帝ニ對シテ訴訟ヲ提起スル
ノ權利ハ何人トモ之ヲ有セサルニ是レ依ル

モノトス之レト同一轍ニテ我カ米國所轄内ニ碇泊スル外國官船ノ航海者ニ於テモ亦然リ此等ノ航海者ハ其官船若クハ官吏ニ對シテ訴訟ヲ提起スルヲ許サズ是レ此等ノ航海者ハ外國人タルニ依テ敢テ然ルニアラス全ク万国普通ノ法律トシテ皇帝ノ身体タル公使及ヒ皇帝ノ船舶等ハ平和ノ時間中ハ如何ナル地ニアルヲ問ハズ全ク不羈獨立ノ資格ヲ保有スルモノトスルニ依ルモノナリ

若シ米國ノ海負タル者ノ其義務ヲ以テ外國ニ於テ之ヲ免黜シ若クハ外國ニ於テ船舶ヲ賣却シテ其船負ヲ免黜スルニ依リ法律上其海負ノ三ヶ月分ノ別段ノ給料ヲ領事ヘ年納シテ其三

司法省

分ノニヲ免黜セラレタル海負ヘ年償セサル可カラサルニ當リ及令船長此等ノ給料ヲ領事ト年納セサルモ慣例法上之レニ對シテ其別段ノ給料ヲ収復ス可キ訴訟ヲ提起スルヲ得ズ然レモ斯ル別段ノ給料ヲ収復ス可キ訴訟ハ海負ヨリ提起スルモノト又ハ合衆國ヨリ提起スルモノト問ハズ海上裁判所ニ於テ之ヲ受理ス可シ然レモ英國ノ海上裁判所ニ於テハ此裁判權ヲ有セサルモノトス

海上ノ通商貿易ノ末タ今日ノ如ク盛大ナラサリシ時代ニ在テハ航海者ニ報償スル普通ノ方法ハ其方法若クハ他ノ方法ヲ以テ之レニ其航海ニ依テ得タル利益ヲ配與スルニアリシカ輓

近ニ至テハ苟クモ鯨獵海豹獵魚獵等ノ航海ニ
於ケルヲ除クノ外ハ所得ノ配典ヲ廢棄シテ之
レニ若干ノ給料ヲ給典スルトト爲レリ然レモ
此等鯨獵等ノ航海ニ在テハ今日ニ至テモ尚ホ
往古ノ方法ヲ收用シテ其所得ヲ配典スルヲ常
例トス然リ而シテ英國ニ於テハ未タ彼ノ海上裁
判所ノ裁判權ヲ回復セシ軌道ノ制法ヲ頒布セ
サリシ以前ニ在テハ航海者ノ受ク可キ報償ハ
通常ノ方法ヲ以テ契約ヲ爲シタルモノニアラ
サレハ海上裁判所へ告訴スルヲ許サス然シテ
其通上ノ方法トハ豫メ其給典スヘキ給料ノ金
高ヲ定ムルニ在リトシ之ヲ理由トシテ法律裁
判所ヨリ禁令狀ヲ發シテ海上裁判所ニ於ケル

司法省

訴訟ノ審判ヲ禁止セリ是レ不当ノ甚シキモノ
ニシテ蓋シ是レヨリ公理正道ニ戻ルノ甚シキ
モノアラサル可シ

又英國及ヒ我カ米國ニ在テハ外國高船ノ海負
ヲシテ之ヲ海上裁判所ノ管轄外ニ屬セシト謀
ルト往々之アリ然シテ其理由トスル所ヲ聽ケ
ハ或ハ之ヲ管轄外ニ屬スルハ各國互相ノ禮儀
ナリトシ或ハ船舶ハ其所屬國ノ所領ノ一部ト
ルトノ妄想說ヲ以テ理由トシ或ハ斯ル海負ニ
関スル訴訟ハ苟クモ其海負若クハ船舶ノ附屬
スル外國ノ領事或ハ其他皇帝ノ代人タル者ノ
兼諾ヲ得ルニアラサレハ一モ裁判權アラサル
トヲ以テ理由トセリ然レモ等ノ諸說ハ一ト

シテ誤謬ニアラサルモノナシ元來各國互相ノ
間ニハ斯ル禮儀ノ存スル者ニアラズ又一國ノ
所領内ニ在ルモノハ一トシテ其裁判權アラサ
ルモノナク又外國政府ノ官吏タル者ハ得テ裁
カ裁判所ノ裁判權ヲ共奪スヘキモノニモアラ
ズ元來其管轄外ニ屬スルモノハ或ハ憲法中ニ
規定スルモノニ係リ或ハ條約中ニ約定スルモ
ノニ係リ又或ハ各國ノ往古ヨリノ習慣ニ依テ
然ルモノニシテ此等ハ通商貿易上ノ通常ノ事
業ニ從事スル人々及ヒ其財産等ニ至レ迄之ヲ
援引シテ通用スヘキモノニアラス然シテ万国
ノ交通ト通商貿易上トノ現状ニ按ル時ハ何人
ニ依テス平和ノ時ニ在テハ其權利ヲ保護スル

司法省

為ノ其在留スル本國裁判所ノ救助ヲ受クルノ
權アルモノニシテ斯ル裁判權ハ苟クモ條約上
禁制シタル時ヲ除クノ外各國裁判所ノ共ニ有
スル所ノモノナリ然レモ例ハ外國ノ海員ニ
関スル訴訟ニ於ケル如ク其裁判權ヲ他ノ裁判
所ニ推讓スルトノ大ニ便宜ナル時ハ之ヲ行フヲ
肯セサルヲ往々之レアル可シ

總テ舩舶ヲ建造シ艦装シ或ハ之レニ食料必要
物等ヲ供給シ或ハ其荷積荷卸等ヲ為シ或ハ之
レニ修理ヲ加フル間ハ之レニ接近スルノ最モ
便宜ニシテ且安全ナルニハ之ヲ埠頭若クハ造
船所ニ碇泊セサル可カラズ然レテ其埠頭若ク
ハ造船所ヲ使用スルノ貸賃トシテ其船舶ノ年
償セサル可カラサル責任アル謝金ハ之ヲ称シ
テ埠頭税或ハ造船所ノ借料ト云フモノニシテ
此等モ亦海上裁判所ノ裁判権内ニ屬スルモノ
ナリ故ニ此等埠頭税ノ年償ヲ受クルニ當テハ
其船舶ノ埠頭内ニ碇泊セシ時ト又ハ埠頭外ニ
碇泊シテ唯テ端船若クハ船賃ノ為テ一時其埠
頭ヲ使用セシニ過キサル時トヲ問ハズ其船舶

司法省

ノ船長船主若クハ其船舶ニ對シテ海上裁判所
ニ訴訟ヲ提起スルヲ得可シ之ト同一轍ニテ航
或ハ其他ノ器具ヲ海岸ノ倉庫ニ附托スル為メ
年償ス可キ謝金モ亦然リ此等ノ貸賃即チ倉庫
税ニ関スル訴訟モ亦海上ニ関スル訴訟中ニ屬
スルモノナリ
又船舶ハ其建造ヲ果シ或ハ荷積荷卸等ヲ為ス
タメ之ヲ陸地ヨリ遠隔ノ場所ニ碇泊シテ之レ
ニ其船具、綱具、器具、船賃、供給物、旅客、海負等ヲ運
送スルニ貨船脚船或ハ其他ノ小船ヲ以テセサ
ル可カラサルヲ往々之レアリ斯ル際ニ在テ其
運送ヲ為シタル使役ハ全ク海上ニ関スルモノ
ニシテ其使役ヲ為シタル貨船脚船等ノ水手及

其他ノ海負タル者ハ総テ其討求ノ弁償ヲ受
タル為メ海上裁判所ヨリ其船長ニ對シテ人推ニ
関スル訴訟ヲ提起シ又ハ其船舶ニ對シテ物権
ニ関スル訴訟ヲ提起スルノ權アル可シ
又船舶ヲ以テ其船貨ヲ安全ニ運送スルニハ先
ツ專ラ其船貨ノ能ク積入レテ其艤装ヲ為シ又
突徳水漏蒸氣暑熱香氣等ニ依テ其船貨ノ互ニ
他ノ物品ヲ毀損スルヲ防遏シ又ハ暴風暴雨
等ノ為メ其船貨ノ毀損破壊セサケシムルヲ以
テ以テ必要ナリトス然レテ此等船貨ヲ積入ル
ノ事業ハ佛蘭西語ノ所謂「アルノール」ナル船
貨積入人ト称スル諸種ノ職工ノ掌トルモノニ
係リテ總テ此等ノ使役ハ海上ニ関スルナリ

司法省

リ故ニ此等ノ者モ亦其討求ノ弁償ヲ受クル為
メ其船舶ニ對シテ物権ニ関スル訴訟ヲ提起シ
又ハ其船長或ハ船主ニ對シテ人権ニ関スル訴訟
ヲ提起スルヲ得可シ又此等ノ船貨積入人ナル
者ハ船貨引渡ノ港ニ在テハ其船貨ヲ開披陸上
スル等ノ為メニ使役セラル、トモ亦往々之レ
アリ然レテ此使役タルヤ果シテ海上ニ関スル
モノニ係ルヤ否曾テ疑問ノ起リシトアリシカ
思フニ既往ノ航海ヲ完了シテ更ラニ後々他ノ
航海ヲ為スノ豫備ヲ為スタメ其船貨ヲ上陸ス
ルハ恰カモ之ヲ積入ル、如ク船舶ニ對シテモ
又ハ通商貿易上ニ在テモ又ハ航海上ニ在テモ
一トシテ必要ナルニアラザルナカル可シ是レ

ニ由テ之ヲ觀ル時ハ小船ノ水手、貨船ノ水手、船底ヲ刮耗スル者、船舶ノ機装ヲ為シ又ハ船側ヲ独飾スル者等、海上裁判所ニ告訴シテ其保護ヲ受クルノ權アルカ如ク此等海上ノ通商貿易上、航行中最モ貴重ニシテ且船賃ヲ受クル權利ノ附屬スル船舶、最終ノ所行タル船賃引渡ノ事業ヲ遂行スル者等モ亦同一ノ特許ヲ受クルノ權アルハ論ヲ待タサルナリ

又船舶ノ第一ノ主タル目的ハ其雇入ヲ受ケテ船賃ヲ運送スルニ在リ故ニ船積ノ契約ハ海上海上航海上ノ裁判權内ニ屬スルモノニシテ若シ其船舶、船長、船主等ノ其結ビタル物品或ハ旅客ヲ運送ス可キ契約ヲ充分信實ニ遂行セザル

司法省

ニ於テハ船舶ハ其損害ノ為メ海上裁判所ニ提起セラレタル物權ニ関スル訴訟ノ責メヲ免カル可カラズ又其船長、船主等ハ人權ニ関スル訴訟ノ責メヲ免カル可カラサルナリ之レト同一轍ニテ其船賃ヲ弁償ス可キ責任アル者ヨリ之レヲ收獲スル為メ海上裁判所ニ其物品ニ對シテ物權ニ関スル訴訟ヲ提起又ハ其船賃ヲ弁償ス可キ責任アル者ニ對シテ人權ニ関スル訴訟ヲ提起スルヲ得可シ然リ而シテ總テ船舶ヲ以テ旅客或ハ財産等ヲ運送ス可キヲ約スルモノハ一トシテ船積ノ契約ニアラサルナク又船舶ヲ使用スル為メ弁償ス可キ雇賃ハ總テ船賃ニシテ此等ノ契約ハ之ヲ約スルニ唇面ヲ以テシ或ハ唯

夕言詞ヲ以テ約スルモ亦敢テ妨ケナク又某物
品ヲ某地ニ運送スル為メ之ヲ船中ニ領収ス可
クトヲ承諾スル旨面ハ之ヲ称シテ積荷目録ト
云フ然レテ之ヲ作成スルニハ其通常ノ旨式ヲ
リト虽モ必スレモ之ニ依ルヲ要セズ反令如
何ナル旨面ト虽モ苟クモ之ニ通常ノ積荷目
録中ノ主タル条件ヲ記載スルニ於テハ亦一ト
シテ積荷目録ニアラサルナレバ元來船積ハ積荷
目録ヲ交附セズニテ又ハ其船積或ハ双方ノ者
ノ責任ヲ証明ス可キ旨面ヲモ交附セズニテ之
ヲ為スト往々之レアルモノニシテ斯ル際ニ在
テモ之レニ関スル法律裁判權等ハ恰カモ之ヲ
為スニ全ク旨面ヲ以テセシ時ト毫モ異ナルト

司法省

ナレ例ハ今爰ニ物品ヲ船積シテ其船積ノ兼
諾旨アラス又ハ其物品ヲ安全ニ運送ス可キ義
務アリテ其契約旨アラストセンカ之レカ為メ
其責任ヲ免カレ或ハ裁判所ノ裁判權ヲ變換ス
ルノ理アル可カラサルナリ
若シ巨額ノ金高ヲ以テ航海ノ全部若クハ其一
部中又ハ一航海一同中或ハ其他ノ所約ヲ以テ
船舶ノ全部若クハ其一部ヲ賃借スル時ハ通常
其契約ヲ称シテ雇船ノ契約ト云フ然レテ此雇
船ノ契約ハ之ヲ約スルニ必スニ通ニ切断スハ
キ鈐印ノ証旨ヲ以テス可キモノニシテ若シ之
ヲ約スルニ鈐印ノ証旨ヲ以テセサル時ハ未ダ
之ヲ称シテ雇船ノ契約旨トスルニ足ラズ唯々

雇船ノ唇面タルニ過キサル可ク若シ又之ヲ約スルニ唇面ヲ
以テセサル時ハ未タ以テ雇船ノ契約ト称ス可カラズト
虫ト然レモ尚ホ通常之ヲ称シテ亦雇船ノ契約ナリト
然シテ此種ノ契約ハ之ヲ約スルニ鈐印ノ証唇ヲ以テセシ
ト無印ノ唇面ヲ以テセシト又ハ唯タ言詞ヲ以テ約セ
シトヲ問ハス之レニ関スル海上裁判所ノ裁判權及其
法律等ハ毫カモ彼我ノ別アルナレ然ル所以ノモノハ
他ナレ元来其契約ノ責任ノ生シテ之レニ関スル裁判
權ノ海上裁判所ニ属スルハ全ク其双方ノ者ノ約定スル所
約ノ主タル条件ニ依テ然ルモノニシテ取テ其
双方ノ者ノ其所約ノ言詞ヲ使用マシ方法ノ如何ニ
依ルモノニアテサルヲ以テナリ然シテ此等
船ノ契約及、其船舶ノ旅客財産ノ運送等ニ関

司法省

スル訴訟ノ裁判權ノ海上裁判所ニ属スルヲハ
固ヨリ能ク決定シテ曾テ其疑問ノ起リシトナ
レ但シ此等ノ契約ニ関スル人々ノ權利責任等
ヲ規定スル法律上ノ規則ハ宜シク海上律ノ諸
種ノ法律唇及ヒホールト氏アボット氏等ノ著述ノ其注
解唇并ニ我カ裁判所ノ判決録等ニ就テ觀ル可シ
曾テ旅客ノ運送ニ関スル契約ノ海上裁判所ノ
權内ニ属スルヤ否ヤノ問題起リシトアリシカ
顧フニ公理正道上人間ノ運送ト他ノ種類ノ活
動物ノ運送トハ固ヨリ彼我ノ別アルノ理ナリ
人間鳥獸魚類ハ如何ナル時代ニ在テモ海上運
送ノ一部ト为リ殊ニ兵卒犯罪人移住人等ノ如
キハ往時ヨリ夙トニ船舶ヲ以テ諸方ノ大洋海

雇船ノ唇面タルニ過キサル可ク若シ又之ヲ約スルニ唇面ヲ
以テセサル時ハ未タ以テ雇船ノ契約ト称ス可カラズト
虽モ然レモ尚ホ通常之ヲ称シテ亦雇船ノ契約ナリト
然シテ此種ノ契約ハ之ヲ約スルニ鈐印ノ証唇ヲ以テセシ
ト無印ノ唇面ヲ以テセシト又ハ唯タ言詞ヲ以テ約セ
シトフ問ハス之レニ関スル海上裁判所ノ裁判權及其
法律等ハ毫カモ彼我ノ別アルヲナレ然ル所以ノモノハ
他ナレ元来其契約ノ責任ノ生シテ之レニ関スル裁判
權ノ海上裁判所ニ属スルハ全ク其双方ノ者ノ約定スル所
約ノ主タル条件ニ依テ然ルモノニシテ取テ其
双方ノ者ノ其所約ノ言詞ヲ使用ヤシ方法ノ如何ニ
依ルモノニアラザルヲ以テナリ然シテ此等雇
船ノ契約及、其船舶ノ旅客財産ノ運送等ニ関

司法省

スル訴訟ノ裁判權ノ海上裁判所ニ属スルハ
固ヨリ能ク決定シテ曾テ其疑問ノ起リシトナ
シ但シ此等ノ契約ニ関スル人々ノ權利責任等
ヲ規定スル法律上ノ規則ハ宜シク海上律ノ諸
種ノ法律唇及ヒホールト氏アボット氏等ノ著述ノ其注
解唇并ニ我カ裁判所ノ判決録等ニ就テ觀ル可シ
曾テ旅客ノ運送ニ関スル契約ノ海上裁判所ノ
權内ニ属スルヤ否ヤノ問題起リシトアリシカ
顧フニ公理正道上人間ノ運送ト他ノ種類ノ活
動物ノ運送トハ固ヨリ彼我ノ別アルノ理ナリ
人間鳥獸魚類ハ如何ナル時代ニ在テモ海上運
送ノ一部ト为リ殊ニ兵卒犯罪人移住人等ノ如
キハ往時ヨリ夙トニ船舶ヲ以テ諸方ノ大洋海

上其他總テ航海ヲ為シ得可キ水面ヲ運送セリ
ノヲレリゲ氏曰ク船舶ヲ以テ海上ヲ旅行スル
為ノ船賃ヲ年償セシメテ載セテ往古ヨリノ簿
冊中ニ在リト又曰ク總テ自身及々其旅荷等ノ
運送ノ為ノ船賃ヲ年償スル者ハ旅客ナリト元
来海上ノ旅費ノ如キハゴラドルヒン氏ノ海上
裁判權論中ニ記載スルカ如ク殊ニ之ヲ以テ海
上裁判所權内ニ屬スルモノトシ又海上或ハ海
上旅行ニ関スル民事上ノ海上ノ訴訟ハ英國殖
民地ノ海上裁判所ノ判事ノ委任狀中ニ規定シ
テ之ヲ其權内ニ屬シ又旅客船舶航海船等ニ関
スル條件ノ如キ其最モ貴重ナルモノハ國會ノ
決議ヲ以テ之ヲ規定シ然レテ今ヤ船賃ヲ得テ

司法省

旅客ヲ運送スル營業ノ如キハ海上ノ通商貿易
上ノ事業中之ヲ以テ最モ貴重ナルモノトス但
シ新約克州ノ南部ニ於テハ海上ノ旅客ノ權利
ニ関スル諸種ノ訴訟ヲ海上裁判所ニ提起セシ
者屢々之レアリ然レテ諷州ノ如キ此裁判權ノ海
上裁判所ニ屬スルコトハ地方裁判所巡回裁判所
等ノ共ニ許シテ疑ハサル所ナリ
總テ水先料ニ関スル訴訟モ亦海上航海上ノ裁
判權内ニ屬スル訴訟ナリトス
元来水先人或ハ舵工ナル名称ハ或ハ之ヲ以テ
船舶ノ航海中其船ノ甲板ニ在リテ船舶ト船路
トヲ掌トシ某官吏ニ適用スルコトアリ或ハ河川
通路海峡等ヲ經過シテ船舶ヲ駛行シ若クハ甲

港ヨリ乙港ニ達スル為ノ某所ニ於テ船中ニ雇
入ル者ニ適用スルコトアリ然レテ甲種ノ際ニ
在テハ水先人ナル者ハ全ク航海者ノ一名ニシ
テ其権利ハ他ノ航海者ノ有スルモノト毫モ異
ナルコトナク又乙種ノ際ニ在テハ其使役ハ全ク
海上ニ関スルモノニシテ殊ニ其使役ノ性質ヨ
リシテ給与ヲ受クルノ権アルモノナリ故ニ水
先人ナル者ハ船舶ニ對シテ物權ニ関スル訴訟
ヲ提起シ又ハ船主或ハ船長ニ對シテ人權ニ関
スル訴訟ヲ提起スルコト得ルモノニシテ此裁判
權ノ海上裁判所ノ權内ニ屬スルコトハ我カ米國
及ヒ英國等ハ勿論其他歐羅巴各國ニ於テモ共
ニ許レテ毫モ疑ヒコト容レサル所ナリ

司法省

但シ英國ニ在テハ河川港江等ノ水先人ハ船舶
ノ安全ニ港江ヲ出入シ又ハ航海ヲ為シ得可キ
河川ヲ上下スル為ノ水先人ニ類似スル荷積人
ナル者ヲ設ケテ之ニ充テシヨリ其水先料ハ
該國ノ海上事務上之ヲ称シテ荷積料ト云フ
船舶ハ海上ヲ漂流シテ其資本ノ欠乏ニ然レテ
未タ曾テ其船主ヲ識知セシ者ナリ又ハ容易ニ
接近ス可カラサル場所ニ達スルコトアリ又船長
タル者ハ通常其航海ノ需要ニ応スルニ足ル可
キ充分ノ資本ヲ有スルモノニアラス然レテ船
主ヨリ充分委任ヲ受ケタル其代人ナリ故ニ船
長タル者ハ若シ必要已ムコト得サル際ニ在テハ
此資格ト其他之レト類似スル海上ノ通商貿易

上ニ於ケル資格トヲ以テ他人ニ其船舶ヲ抵当
ト為シ之ヲシテ船長若クハ船主ニ對シテ其討
求ヲ為サセムルト屢々之レアリ是ヲ以テ船長
船主等ノ約シタル契約又ハ其他人ニ加ヘタル
狂害等ハ之レヨリ其船舶ノ差押権ノ生スルモ
ノ数多之レアリ歟シテ此等ノ差押権ハ其船舶
ヲ抵当ト為シタルヨリ生スルモノニ係ルト又
ハ黙約或ハ法律上ノ効力ヨリシテ生スルモノ
ニ係ルトヲ問ハス總テ海上ニ関スル差押権ナ
リトス

海上ニ関スル差押権 總テ海上ニ関スル差押
権ハ海上裁判所ニ於テ之レヲ執行ヲ受クルヲ
得ルモノトス抑々海上ニ関スル差押権ハ慣例

司法省

法上ノ差押権トハ全ク異ナルモノアリテ慣例
法上ノ差押権ナルモノハ其差押ヲ為ス権アル
物件ト其有無ヲ共ニスルモノニシテ唯々其物
件ヲ拘留スルノ権利ニ過キヌト虫口之レニ及
シ海上ニ関スル差押権ハ毫モ其差押ヲ為ス権
アル物件ノ所有ト其有無ヲ共ニスルモノニア
ラズ全ク其物件ニ関スル権利ニシテ之ヲ以テ
其物件ヲ所有ニ歸スルノ便益ト及ヒ其便益ヲ
收獲スルニ當ラハ其物件ニ對シテ訴訟ヲ提起
スルノ權利トヲ其権アル者ニ附与スルモノナ
リ然シテ此等ノ差押権ニ関スル訴訟ノ裁判権
ハ總テ海上裁判所ノ権内ニ屬スルモノナリ
又如何ナル際ニ在ラモ若シ物件ニ付海上ニ関

スル差押権アル時ハ其差押権ハ其物件ノ所得
ニ附着スルモノニシテ敢テ其何人ノ手ニ移ル
可キモノニ係ルヲ問ハス故ニ此等ノ所得ハ海
上裁判所ニ於テ之ヲ押封スルヲ得可シ
海上ニ関スル貸金 総テ海上ニ関スル貸金ノ
訴訟ハ海上航海上ノ裁判権内ニ属スルモノニ
シテ此種ノ訴訟ノ海上裁判所ノ権内ニ属スル
テハ往古ヨリ夙トニ能ク決定スル所ノモノニ
シテ苟クモ通商貿易ノ盛ナル国々ニ於テハ各
国共ニ攀テ否ラサルナシ然レテ此貸金ノ通商
貿易上必要タルヲハ実ニ屢々之レアルモノニ
シテ苟クモ海上ノ通商貿易ノ盛大ナル場所ニ
在テハ之レヨリ生スル訴訟ノ累積セサル所ナ

司法省

シト云フモ敢テ過当ニアラサル可シ但シ此貸
金ハ羅馬法海上律ノ諸種ノ法律昏及々此貸金
ニ関スル法律ヲ論ヤ最モ碩学ナル法律家ノ
著看等ニ在テハ多クハ之レニ船抵当及々船賃
抵当ナル標題ヲ附シ然レテ昏中最モ貴重ナル
場所ヲ占有スルモノナリ
船抵当ノ貸金 此種ノ貸金ハ其航海ノ為メ船舶ト
船賃トヲ抵当トシ若クハ船舶船賃船賃等ヲ抵当ト
為シ其航海ヲ安全ニ遂行スルニ於テハ元金ト利息ト
ヲ併セテ之ヲ弁償ス可ク若シ又其船舶ノ目的ノ場
所ニ安着セスレテ海上ニ於テ危難ニ罹リテ損失シタル時ハ
元利金共一モ弁償ヲ為ササルヲノ所約ヲ以テ之レニ海
上ノ利息ヲ附シテ借入ル、金額ヲ示スモノニ

係ル然レテ此等ノ貸金ニ関スル裁判権ハ英國
及ヒ其他歐羅巴ノ各国并ニ我カ米國ニ在ラモ
共ニ海上裁判所ノ権内ニ屬スルモノトス
然レモ其貸主ノ海上ノ危難ニ關係セサルコトヲ
約スル時ハ仮令其貸金ノ若シ斯ル所約アラサ
ルニ於テハ全ク海上裁判所ノ権内ニ屬スルモ
ノニ係ルモ尚ホ一モ海上裁判所ニ於テ其裁判
権ヲ有セサルモノトス

船貨[○]抵[○]当[○]証[○]各[○] 此種ノ証各ハ船舶ヲ抵当トス
ルニアラシテ全ク船貨ヲ抵当トシテ金額ヲ借
入ル、時交附スル所ノ唇面ニ係ル然レテ此船
貨抵当ノ貸金モ亦若シ其物品ノ安着スルニ於
テハ其元金ト利金トヲ保テ之ヲ弁償ス可シト

司法省

虽^レ若シ其物品ノ損失スルニ於テハ貸主ノ其
弁償ヲ討求スルコトヲ許サ、ル所約ヲ以テ之レ
ニ海上ノ利息ヲ附シテ借入ル、モノナリ然レ
テ之レニ関スル裁判権ノ海上裁判所ノ権内ニ
屬スルコトハ未タ曾テ合衆國ノ裁判所ニ於テ之
ヲ拒絶セシコトアラサルナリ
又ハ大洋ニ於テ船舶ノ受タル毀損ヲ修理スル
為^レノ船長ノ商量シタル貸金ノ裁判権モ亦海上
裁判所ノ権内ニ屬スルモノナリ然レモ爰ニ判
例ニ拠ルニ買主ノ船舶ヲ購求スル為^レノ港内ニ
於テ借入レタル貸金ノ裁判権又ハ蒸氣船ノ供
給修理ノ為^レ又ハ官印ヲ受クル為^レ其船主ノ
使用トシテ弁償シタル金額ノ差引計算ノ殘金

ニ付其蒸氣船ノ代人タル者ヨリ船主ニ對シテ
提起スル討求等ハ海上裁判所ノ権内ニ屬カ、
ルモノトス然ル所以ノモノハ他ナシ此等ノ処
分ヲ以テ全ク海上ニ関スル契約ニテラサルモ
ノトスルヲ以テナリ

海上保僉ノ契約 此種ノ契約ハ尤ト船舶ノ危
険タルヨリ海上ノ通商貿易ト共ニ夙トニ世ニ
行ハレシモノナリ故ニ其契約ニ関スル權利義
務責任等ハ往古ヨリ海上律ヲ以テ規定セシモ
ノニ係ル思フニ海上ノ保僉ニ関スル訴訟ノ如
キ其查明ス可キモノハ實ニ唯ク其航海ノ事實
処分及々危難ト海上律上ノ原則規則等ノ適用
トニ過キサルモノナリ然レテ此契約ノ如キハ

司法省

往古ヨリ各国共ニ之ヲ以テ海上ニ関スルノ契
約ト爲シ苟クモ英国ヲ除クノ外ハ各国共ニ其
裁判権ヲ海上裁判所ノ権外ニ屬セシモノナリ
然レテ各国ノ裁判権ヲ規定セルモノニ依テ觀
ル時ハ英国ト虽モ尚ホ明カニ之ヲ規定シテ海
上裁判所ノ権内ニ屬スルモノトス
蘇格蘭ニ於テハ海上ノ保僉ニ関スル訴訟ノ裁
判権ハ海上裁判所ノ権内ニ屬スルヲハ未ダ曾
テ爭論ノ起リシヲナシ然レテ此等海上ノ保僉
ニ関スル訴訟ノ該國ノ海上裁判口提起シ該裁
判所ニ於テ裁決セシモノヲ上院ト上訴セシモ
ノハ千八百十三年ト十四年トノ間ニ在テ前後
其數八件アリ然レテ其訴訟ノ如キハ或ハ船舶

ノ建造ノ粗悪若クハ老衰ヨリシテ航海ヲ堪ヘ
サルノ疑問ニ関スルモノアリ或ハ船舶船貨
船賃等ノ保険ヲ擲棄ス可キ権利又ハ其棄権ノ
効力又ハ其棄権ノ領收等ニ関スルモノアリ然
リ而シテロウカス氏クレイノリゴ
氏ボールレーパター氏及ヒボールサル氏等ノ有
名ナル海上律ノ著者ノ如キハ昏中殊ニ海上保
險ニ関スル法律ヲ論シ又無名氏ノ著述ニ係ル
有名ナル海上案内昏ノ如キハ全ク海上保険ノ
契約ノ注解昏ニシテ若シ昏中ニ就テ觀ル時ハ
海上律上ノ規則ナルモノハ一トシテ海上ノ保
險ニ関スルノ法律ニアラサルナキヲ看破ス
可シ然レテ船抵当ノ契約ト海上保険ノ契約ト

司法省

ハ共ニ海上ノ危険ト其損失トニ関スルモノニ
係ルモ船抵当ノ契約ニ関スル裁判權ヲ以テ海
上裁判所ノ權内ニ屬スルモノトシ海上保険ノ
契約ニ関スル裁判權ハ其權内ニ屬サハルモノ
トスルハ果シテ如何ナル理由ノ存スルアリテ
然ルモノトスルヤ其理由ヲ看破スルハ實ニ難
事ナリト云ハサルヲ得ス元來積荷目錄ノ如キ
モ若シ海上保険ノ保護ニ屬ス可キ海上ノ危険
ヲ除ク時ハ亦全ク總テノ危険ニ對シテ物品ノ
安全ヲ保証スル保險ノ契約ナリ若シ彼ノハル
グニサス氏ノ各国ノ海上律ヲ蒐集セシ大部ノ
昏冊ニ就テ觀ル時ハ諷昏ノ目錄中ニ記列セル
標題中共救ノ保險ノ部ト保險金ヲ以テ約スル

保險部トニ就テ觀ル可シ二十五ヶ所ノ国々ト
都府トノ海上律中海上保險ニ関スル法律ハ其
保險ノ始メテ世ニ行ハレシ時ヨリシテ夙トニ
總テ通商貿易ノ盛ナル場所ニ於ケル海上律中
ノ最モ貴重ナルモノト为リタルヲ徴スルニ
足ルモノニシテ實ニ此契約ノ如キハ全ク海上
ニ関スル契約ナリトス

保險ノ契約ニ関スル裁判權ノ米國海上裁判所
ノ權内ニ屬スルヲ如何ニ就テハ未ダ曾テ之
ヲ合衆國ノ大審院ニ上告セシ者アラス唯タ彼
ノデロウ井ヲ氏ヨリボイト氏ニ對スル有名ナ
ル訴訟ニ於テ之ヲ巡回裁判所ニ告訴シテ大ニ
討論講究ヲ尽シタル後該裁判所ニ於テ其裁判

司法省

權ヲ停止セシト爾後再ヒアンドリウス氏ヨリ
イヌセツクス氏火災海上保險會社ニ對スル訴
訟ニ於テ停止セシトニ過キサルナリ

共^〇擔^〇分^〇損^〇ニ^〇関^〇ス^〇ル^〇訴^〇訟^〇 總テ此種ノ訴訟ハ海上裁判所ノ權内ニ属スルモノナリ元來共擔分損ノ如キハ全ク海上律ノ規定セルモノニ係リテ海上律トハ他ノ條件ヨリモ一層其關係多ク之レニ関スル諸件ハ悉ク海上ニ関スルモノニシテ彼ノロラデアシノ法律ノ世ニ行ハレシ時代ヨリ今日ニ至ル迄如何ナル法律存ニ於ケルモ又ハ如何ナル講法者ニ在テモ一トシテ之ヲ以テ海上裁判所ノ權内ニ属スルモノトセサルナシ然リ而シテ若シ難船ニ罹リタル時其危難ニ罹リタル財産ノ一部ヲ海中ニ擲棄シテ他ノ一部ヲ救助シタル時ハ其救助セラレタル財産ノ所有主タル者ハ公衆ノ使益ノ為メ各々其救助セラレタル物品ノ比例ニ從テ其擲棄セラレタル財産ノ所有主ノ失損ヲ相平均分償セサレ可カラズ之ヲ称シテ共擔分損ト云フ故ニ此共擔分損ノ如キハ全ク海上律上ノ規則ニ属スルモノニシテ曾テ一訴訟ノ起リシニ至テハ之ヲ判決シテ法律裁判所ニ於テ一モ其裁判權ヲ有セサルモノトセリ然シテ英國ニ於テハ之ヲシテ法律裁判所ノ權内ニ属シ且物品ノ受託者ヲシテ其責任ヲ負擔セシムルメノ通常其救助セラレタル物品ヲ領収スル者ニ要シテ未ク之ヲ領収セサル前ニ先ツテ其分償ノ股分ヲ弁償ス可キトテ負擔スル証存ヲ發行セシムルヲ常例トセリ然レモ其分償ハ之ヲ収復スルニキ權アル

司法省

各人ヨリ其分償ノ股分ヲ弁償スヘキ責任アル
各人ニ對シ各々衡平法上ノ訴訟ヲ提起シ若ク
ハ法律上ノ訴訟ヲ提起シテ之ヲ收復スルヲ得
ルモノトス是レ今日能ク決定スル所ナリ然レ
テ此分償ニ関スル討求ノ主タル條件ハ固ヨリ
海上ニ関スルモノニ係ルカ故ニ其訴訟ノ海上
航海上ノ裁判権内ニ屬スルハ論ヲ待タサルモ
ノニシテ裁判所ニ於テ其收復ヲ得セシムルニ
當テハ之ヲ得セシムルニ至当ナル訴訟ノ手續
ヲ收用スルヲ得ヘシ故ニ若シ其討求ノ裁判所
ノ権内ニ屬スル財産ノ差押ニ係ル時ハ物件ニ
関スル訴訟ノ手續ヲ收用スルヲ得ヘク若シ又
其責任アル者ノ裁判所ノ権内ニ屬スルモノニ
係ル時ハ入権ニ関スル訴訟ノ手續ヲ收用スル
ヲ得ヘシ

司法省

原註

左ニ記載スルモノハ曾テカツトレル氏ヨリ
レース氏ニ對シテ提起セル訴訟ニ於ケルモ
ノニシテ即チ判決録中ニ記載スル所ノモノ
ナリ
曾テ某船ノ之レニ查明ヲ為シタル船賃ヲ積
入レテニウラルレアシスヨリホストン江向
ケテ駛行スルニ當リ不意ニ暴風ニ遭遇セシ
ヨリ若シ上陸ヲ為サシムルニアラサレハ其
船中ノ人々ト船賃トヲ失フノ恐レアルヲ以
テ船將ハ之ヲ上陸セシメリ然シテ此船長ノ

隨意ヲ以テ上陸ヲ為サシメヨリ為メニ其
船舶ハ全ク損失シテ五千四百弗ノ價額アル
船貨ヲ救助シ其船貨ハ被告人ノ領收セシモ
ノニシテ被告人ハ其船貨ノ持主ニアラス全
ク其受託人ナリ然ルニ原告人ヨリ共擔分損
ニ付被告人ニ對シテ訴訟ヲ提起セシニ被告
人ハ此等ノ事實ヲ承認セシト虽モ其責任ハ
法律上之ヲ負擔ス可キ責アラサル者トシテ
之ヲ拒絶セリ

抑々此訴訟タルマ海上航海ノ裁判權内ニ
屬スルモノニ係ルナリハ裁判所ニ於テ數十年
間其判例ヲ一ニセシメシメテ歐羅巴各國
ノ海上裁判所ニ於テモ其ニ準テ承認スル所

司法省

ノモノニシテ實ニ是レヨリ能ク海上ニ關ス
ルモノニ係ルナリノ確定シ又ハ是レヨリ一般
ニ万国共ニ海上律中ニ規定スルモノナカル
可シ

又法律上ノ責任ノ有無ニ關スル問題ハ裁判
權ノ有無ニ關スル問題トハ全ク異ナリ然ル
ニ此訴訟ノ問題ハ被告人ノ其救助セラレタ
ル財産ノ受託人ニシテ其所有主ニアラス又
其財産ハ全ク破産ノ財産即チ損害ニ罹リテ
救助セラレタル財産トシテ領收シテ救助ヲ
受ケタル財産トシテ領收セルニアラス且未
タ曾テ証各或ハ其他ノ方法ヲ以テ共擔分損
ノ償金ヲ弁償スヘキ契約ヲ為シシトモア

ラサルヲ以テ被告入自身其償金ヲ弁償スハ
キ責任アルヤ否ヤノ一項ニアリ故ニ此問題
ハ何方ヨリ觀ルモ裁判權ノ有無ニ関スル問
題ニアラス然シテ被告入ノ請求スル所ハ其
責任ノ輕減ニアラスシテ全ク之ヲ拒絶スル
ニアリ

此問題タルヤ曾テ海上裁判所ニ於テ現ニ之
ヲ裁決セリ然シテ其裁決セシ処ノモノヲ爰
ニ畧言スレハ共擔分損ノ訴訟ニ於テハ海上
ニ関スル差押ヲ奉行シテ唯タ其救助セラレ
タル財産若クハ其所得ヲ領収スルニ過キサ
ル者ヲシテ其責ニ任セシムルヲ得ハキモ
ノニアラストシ又其物品ノ所有主ト虽モ若

司法省

シ其共擔分損ノ償金ヲ弁償スルニ至ル迄其
物品ヲ押留スヘキ船長ノ權利ヲ奉行セス
テ之レニ交附スルニ於テハ海上律上自身其
分損ノ償金ヲ弁償スヘキ責任ヲシトセリ
若シ投荷ヲ為ス時ハ為メニ此等共擔分損ノ償
金ヲ受クル權利ノ外尚ホ他ノ權利ノ生スルモ
ノナク元來航海ナルモノハ其間諸種ノ不慮ノ
災害起リテ為メニ船貨ヲ船舶ノ使用上ニ供シ
又ハ航海ヲ遂クルニ必要ナル資本ヲ弁利スル
為メ之ヲ賣却スルノ必要ナルト往々之レアル
ル可シ然シテ此等ニ関スル訴訟ハ然テ海上航
海上ノ裁判權内ニ屬スルモノナリ
滯船ノ償金トハ船舶ノ滯留ニ依テ受ケタル損

害ノ賠償トシテ受ク可キ償金ナリトス元来海上ノ通商貿易及ヒ航海等ハ其性質ヨリシテ総テ急速ト確實トノ最モ遺重ナルモノニシテ若シ船舶ニシテ怠慢アルカ若クハ故ラニ之ヲ滞留スルニ於テハ如何ナル鋭敏ノ商人ト虽モ為ラニ其深思熟考シタル公市場ノ相場ト先見トノ利益ヲ空シク失フニ至ル可シ故ニ船長タル者ハ常ニ急速ヲ以テ其航海ヲ為スヘキ責任アルモノニシテ此責任ハ其運送ヲ為スヘキ責任アリトス之レト同一轍ニテ商人ニ在テモ亦然リ然テ船舶ノ航海ヲ為スニ當テハ之レニ至当ノ時間ヲ與フヘキ責任アルモノナリ然リ而シテ船舶

司法省

ハ元来海上ヲ闖墾スル為メニ建造セルモノニ係ルカ故ニ若シ之レニ従事スル者ノ不当ニ其進航ヲ怠リ或ハ妨害シ又ハ船長ノ其至当ノ職務ヲ行フヲ怠リ又ハ船員ノ不当ニ其職務ヲ放レ或ハ之ヲ行フヲ肯セス又ハ商人ノ其船ノ航海ヲ為ス時ニ當テ其物品ヲ船中ニ積入ルヲ怠リ或ハ航海ヲ終リタル時ニ當テ之ヲ領收スルヲ怠リテ為メニ損害ノ生シタル時ハ其損害ハ全ク船舶ノ妨礙或ハ怠慢等ニ依テ生シタルモノニシテ総テ此等ノ損害ハ滞船ノ償金ヲ以テ之ヲ賠償スヘキモノナリ然シテ此償金ノ如キハ明約ヲ以テ之ヲ約スルヲ屢々之レアリト虽モ必シモ然ルヲ要セス然シテ之ニ関スル訴

訟ノ如キハ彼ノ海上裁判所ノ簿冊此解前章中ニ見ユ中ニ記

載スルモノ數多之アルモノニシテ此訂訟ノ海

上航海上ノ裁判權内ニ属スル者ニ係レテハ固

ヨリ論ヲ待タサルナリ

又魚獵破船ノ搜索敵船ノ收奪及ヒ其他海上ノ

使役等ニ供スル船舶ハ若シ數艘ノ船舶ヲ聯合

スル時ハ其勢力或ハ確實ヲ増加スルヨリ數艘

ノ船舶相聯合シテ其同一ノ使役ヲ為スヘキナ

ラ約スルナリ往々之アルモノニシテ斯ル契約ハ

之ヲ稱シテ船舶聯合ノ契約ト云フ然シテ此契

約ハ海上ニ関スル契約中ニ属スルモノニシテ

我カ米國ニ在テハ其裁判權ノ海上裁判所ノ權

内ニ属スルナリ世人ノ許シテ毫モ疑ヒテ容レ

サル所ナリ

其他海上裁判所ニ於テハ船舶ノ測量人ハ其賣

却等ニ関スル裁判權モ亦之ヲ有スルモノナリ

抑々船舶ノ海上ニ於テ災害ニ罹リ或ハ非常ノ

損害ヲ受ケタルニ當リ其船主ノ所在地ヨリ遠

隔ノ港ニ在リテ船長ノ其船舶ニ修理學繕ヲ加

ヘ能ハス又其航海ヲ為シ能ハサル際ニ在テハ

其船舶船貨等ヲ賣却スルノ外他ニ船長ノ頼ル

可キ方法ナカレバ可シ斯ル際ニ在テ海上裁判所

ヲシテ海上ノ法律ニ從ヒ又某事ニ付テハ万国

公法ニ從ヒ其事情ヲ審査シテ其賣却ヲ命セシ

ムルモノトスルハ實ニ是レヨリ正当適宜ナル

モノナカレバ他ナシ是レ船長ニ在テハ最モ

司法省

有益ノ保護ト为リ又船主保險者等ニ在テハ为
ノニ船主ノ詐偽或ハ不先見不注意等ヲ以テ漫
リニ其船舶ヲ賣却スルノ憂念ヲカルヘキヲ以
テナリ然シテ之レニ関スル裁判權ノ海上裁判
所ノ權内ニ屬スルヲハ英國ニ於ケル法律裁判
所ノ判決ノ影響ヨリシテ曾テ之ヲ拒絶スル論
說ヲ唱ヘシ者アリト虽モ古来ヨリノ判例ニ依
ル時ハ其權内ニ屬スルヲハ今ヤ能ク確定スル
モノ、如シ

然テ救難料ニ関スル訴訟モ亦海上航海ノ裁
判權内ニ屬スルモノナリ抑々救難料トハ人ノ
其所好ヲ以テ船舶或ハ其積荷ヲ救助シテ危難
ヲ免カレシメ又ハ一旦損失セシ船舶或ハ積荷

司法省

等ヲ救助セシ者ニ賠償スヘキ報償金ヲ示スモ
ノニ係ル然シテ此等救難料ヲ受クルノ權利ハ
全ク救難者ノ助カラ以テ財産ノ所有主ヲシテ
之ヲ保存シテ海上ノ危難ヲ免カレシメタルノ
一事ヨリシテ生スルモノニシテ救難者ノ剛勇
慈愛等ノ有無又ハ危難ノ救助人命ノ保存等ノ
如何ハ毫モ其報償ヲ受クルノ權利ニ関スルモ
ノニアラス此等ハ唯々其報償金ヲ受クルノ事
實ニ関スルニ過キヤルモノナリ

甲

總テ救難料ヲ受クルノ權アルト否トハ
其助カラ為シタルモノ、種類ニ依ルニ
アラス又ハ其為シタル助カノ種類ニ依
ルニモアラス又ハ其危難ノ種類或ハ損

失ノ原由等ノ如何ニ依ルニモアラヌ又
其救助セラレタル財産或ハ其所有主ノ
所屬國或ハ其所有等ノ如何ニ依ル者ニ
モアラサルナリ

元來救難料ヲ受クルノ權利ヲ得ヘキ者
ト得ヘカラサル者トハ其間一モ區別ナ
ク例ハ軍艦ノ官吏船員或ハ海岸看守
人、收税官吏等ノ如キ國家ノ官職ヲ奉ス
ル者又ハ水先人ノ如キ準官吏タル者又
ハ「ロイド」英國倫敦ノ航海會社ノ代人又ハ
旅客ノ如キ其救助セラレタルモノト某
關係アル者又ハ非常ノ際ニ在テハ船員
タル者其他同船ノ乗組人又ハ婦女ノ如

司法省

キ獨立ノ權アラサル者又ハ徒弟、幼童、奴
隸、船長、副船長、水手、庖人、外科医、船匠、旅客
及ヒ其他各國ノ陸負タルモノト虽トモ
一人トシテ其權利ヲ享有スルヲ得サル
者ナカルヘシ

乙

又救難料ヲ受クルノ權アルト否トハ毫
モ其為シタル助カノ種類又ハ損失ノ原
由ノ如何等ニ依ルモノニアラス苟クモ
危難ニ罹リタル船舶ニ食料ヲ供給シ或
ハ錨ヲ貸與シ或ハ助カヲ為スクノ之レ
ニ進行シ或ハ乏ヲ挽拽シ或ハ暴風雨ノ
中ヲ航行スルノ加勢ヲ為シ或ハ港道ノ
水先ヲ為シ或ハ船底ヲ牽起シ或ハ水夫

ノ騷動ヲ鎮撫シ或ハ海賊ヨリ收回シ或
ハ敵人ヨリ收奪シ以テ其船舶或ハ船貨
等ヲ救助スルニ於テハ何人トモ一
トシテ其權アラサルモノナシ然レモ此
等助カノ之ヲ以テ斯ル權利ヲ得ルハ敢
テ其求メテ受ケテ爲シタル否トノ如何
ヲ問ハストモ必ス自己ノ所好ニ依テ
爲シタルモノニ限レルモノニシテ即チ
之ヲ詳言スレハ某職務ニ依リ又ハ某契
約ニ依テ爲シタルモノニアラスシテ全
ク救難者ノ其所好ヲ以テ合法ニ爲スヲ
得ヘキ助カニ限レルモノナリ故ニ其救
難料ヲ受クルノ權アルト否トハ其救助

司法省

セラレタル財産或ハ其所有主ノ所屬國
ノ如何ニ依ルモノニモアラサルナリ

丙

又救難ノ助カハ總テ通商貿易ノ盛ナル
國々ニ於テハ國家ノ政界上ト通商貿易
ノ便益上トヨリシテ各國共ニ法律上大
ニ之ヲ保護スルモノナリ

斯ノ如ク國家ノ政界ト通商貿易上ノ便
益トノ獎勵シテ法律上之ヲ保護セシム
ルニ至リシハ全ク私益ノ之ヲ鼓舞セシ
ニ職トシテ依ルモノトス

丁

又救難ノ助カニ付報償ヲ受クルノ權利
ハ全ク合法ノ權利ナリ然シテ以テ權利ハ
救難者ニ在テハ假令他ノモノト關係ア

ルニ拘ハラス其自身ニ属スル人推ナリ
トス果シテ然ルニ於テハ此權利ハ苟ク
モ法律ヲ以テスルノ外得テ之ヲ收奪ス
可キモノニアラス

戊

又救難料ヲ受ケルノ權アルト否トハ財
産ヲ救助セシト否トノ如何ニ依ルト虽
モ其救難料ノ割合即チ其金高ノ多寡ニ
至テハ全ク其救助セラレタル財産高ノ
多少又ハ其助カラ為サレニ於テハ其
財産ノ果シテ損失セシト否トノ有無又
ハ其財産ノ受ケタル危難ノ多寡又ハ其
財産主ノ尽シタル助カラ多少又ハ救難
者ノ身体ノ労働時間ノ浪費或ハ其勇敢

司法省

冒險ノ多少等ノ如何ニ依ルモノニシテ
其最も多額ノ救難料ヲ附與スルキ功勞
ハ既ニ損失シテ所有主ノ全ク之ヲ救助
ス可キ望ミヲ絶テタル財産即チ棄物ヲ
安全ニ其所有主ニ帶來スルニ在リ斯レ
助カニ付テハ裁判所ニ於テ其救難料ト
シテ救助セラレタル財産價額ノ八分ノ
セテ賞與セシテ往々之アリト虽モ通常
其價額ノ抵半ヲ賞與スルヲ例トス

但シ總テ英等ノ救難料ニ関スル訴訟ノ裁判權
ハ英國ニ於テモ又ハ我カ米國ニ在テモ共ニ之
ヲ海上裁判所ノ權内ニ屬スルモノナリ
若シ海運ノ物品或ハ船舶等ノ通商航海課稅等

ニ関スル法律ヲ犯シタル時ハ通商貿易ノ保護
租税ノ徴収及ヒ海上取締リノ規則ノ執行上其
物品或ハ船舶ニ罰金ヲ科シ又ハ之ヲ没収スル
トノ必要タルトハ他ノ通商貿易ノ盛ナル國々
ニ於ケル如ク我カ合衆國ニ在テモ亦然リトス
ルモノニシテ斯ル際ニ在テ他ノ各國ニ於ケル
ト大ニ異ナルモノハ其罰金ヲ科シ或ハ没収ス
可キ船舶物品等ハ全ク裁判所ノ權内ニ在リテ
一ニ其處分ニ屬スヘキモノトスルノ一項ニ在
リ故ニ若シ船舶或ハ船中ノ物品ニ罰金ヲ科シ
或ハ之ヲ没収スヘキ時ハ常ニ此等ノ船舶物品
等ノ收奪ヲ以テ之ヲ執行スルモノニシテ又其
收奪ヲ求ムル訴訟ハ合衆國若クハ其他其者ノ

司法省

為ノニ此等ノ罰金ヲ科シ或ハ没収ヲ為スヘキ
者ノ名ヲ以テ地方裁判所ニ提起スヘキ訴訟ナ
リトス
総テ法律上正当ノ權アル政府ノ官吏タル者ノ
奉行ス可キ公然タル收奪ハ裁判上ノ處分ニ先
ツテ之ヲ為スノ權アリ然シテ此等ノ收奪ハ通
常收税官吏ノ奉行スルモノト又ハ軍艦ノ指揮
官ノ大洋ニ於テ奉行スルモノトニ在リトス
又合衆國ノ課税航海通商等ニ関スル法律ニ從
テ奉行スル收奪中十噸以上ノ船舶ヲ以テ航海
ヲ為シ得ヘキ水面上ニ於テ奉行スルモノハ總
テ海上航海上ノ裁判權内ニ屬スル民事ノ訴訟
ニ係リ又其收奪ヲ執行スル處分ハ之ヲ地方裁

判所は推讓セサル可カラサルモノトス
元來此等ノ收奪ニ関スル裁判權ノ有無ヲ定ム
ルモノハ全ク其收奪ヲ為ス所ノ場所ニシテ敢
テ其罪ヲ犯ス所ノ場所ニアラス故ニ外國ノ所
轄内若シハ大洋ニ於テ收奪ヲ為ス時ハ其收奪
シタル財産ヲ帶來セシ地方ノ裁判所ニ於テ其
裁判權ヲ有ス可ク若シ又合衆國ノ地方内ニ於
テ收奪ヲ為ス時ハ其收奪ヲ為シタル地方ノ裁
判所ニ於テ其裁判權ヲ有スヘシ然レモ若シ其
收奪ノ不法ナル時ハ之ヲ受ケタル者ハ海上裁
判所ニ入權ニ関スル訴訟ヲ提起シテ之レカ收
復ヲ受クルヲ得ヘク然シテ實際ニ在テハ其收
奪ノ大洋港江海岸等ニ於テ奉行セシモノニ係

司法省

ルト又ハ國內ノ湖水河川等ニ於テ奉行セシ者
ニ係ルトヲ問ハス其收奪ニ関スル裁判權ト共
ニ其狂害ニ関スル裁判權モ亦海上裁判所ノ權
内ニ属スル者ナリ
若シ没收ノ刑ヲ科ス可キ租税ニ関スル訴訟ニ
於テ被告人ノ有罪ト決シタル時ハ其告發者ハ
其所得ノ股分ヲ受クルノ權アルモノニシテ告
發者ノ之ヲ收復スルニ當テハ海上裁判所ハ初
審ノ訴訟ヲ提起スルヲ得ルモノトス
然レモ租税ノ徴収ハ海上航海上ノ裁判權内ニ
属スル條件ニアラス故ニ租税ノ弁償ヲ求ムル
物權ニ関スル訴訟ハ之ヲ海上裁判所ハ提起ス
ルヲ得ス

戦利物贖回ノ契約。此契約ハ全ク海上裁判所
ノ権内ニ属スルモノナリ。元來此種ノ契約ノ如
キ其問題ト爲ルヘキモノハ其収奪物ノ戦利ニ
属スルト否ト又ハ其収奪ノ合法ナルト否ト若
クハ否ラサレハ其収奪ノ委任所行等ノ正当ナ
ルト否トニ外ナラサルモノニシテ此等ノ問題
ハ苟クモ海上裁判所ニアラサレハ得テ其裁判
ヲ爲スヘキモノニアラサルナリ。

司法省

所得差押ノ事

允ソ海上差押権ノ屬シタル場合ニ於テハ其差押権タル全ク之ヲ有スル者ノ便宜ニ係ル性質ヲ具ヘタルモノナルヲ以テ允ソ物件ヨリ生スル所得ニモ亦之ヲ及ホスヲ得ヘキモノトス故ニ何人ヲ問ハス其所得ノ屬スル者ニ係リ之ヲ執行スルヲ得ヘシ

故ニ允ソ所得ヲ有スル権アル者ハ損害賠償ノ責任ヲ負擔スヘキ者ト爲シ人權上ノ訴訟ヲ免ルヘカラサル者トス

此原則ノ定マルヤ世人ヲシテ徃々差押権ノ關係アル場合ノ外人權上ノ訴訟ノ裁判權ナシトノ誤見ヲ起サシムルニ至レリ然レモ此原則ノ

司法省

因テ起ル所以ハ全ク海上事件ノ訴訟ニ関スル人ノ責任ハ毫モ差押権ノ有無ニ關係スルモノナラサルヲ示シタルニ外ナラサルナリ

以上所得ニ係ル差押権ハ徃々裁判所ノ登記局ニ於テ行フ所ノ裁判上ノ公賣ヨリ生スル所得ニモ及ホセリ是レ蓋シ裁判所ニ於テ公賣ヲ行ヒタル場合ニ當テハ其所得ノ分配ヲ爲ス以前相當ノ手續ヲ尽シタル上右所得ニ関スル差押権ヨリ生シタル諸般ノ請求ヲ判決スルヲ以テ通則トスレハナリ

○允ソ戦利事件ハ通常合衆國海上裁判権内ニ屬スヘキモノト判定セラレ既ニ此事件ニ関スル責罰軍事上ノ救助回復及ヒ損害賠償ニ係ル

物權及ヒ人權上ノ訴訟ハ古未海上裁判所タル資格ヲ有スル裁判所ニ於テ受理スル所タリ又一千八百十二年六月二十六日ヲ以テ開キタル議院ノ決議書第六條ヲ以テ前上ノ事件ハ總テ海上裁判權内ノ民事タルヲ明ニ定メラレタリ(即チ右決議書第六條ヲ参照スヘシ)

○蘇格蘭及ヒ其他政州大陸ニ於テ開設シタル海上裁判所ニ於テ普通ノ權カニ依テ前上ト同一ノ裁判權ヲ行ヘリト雖モ英倫海上高等裁判所ニ在テハ此等ノ權限ヲ有セサルナリ然レモ通常特別命令ヲ以テ戰利裁判所ヲ設置スヘキトトセリ

○凡ソ海上裁判所ハ海上ニ於テ生シタル損害

司法省

賠償ニ係ル諸般ノ事件ヲ裁判スル權カアルモノトス

又英倫ニ在テハ凡ソ海上ニ於テ生シタル損害ノ訴ハ總テ海上裁判所ノ權内ニ屬スヘキモノト定メ而シテ此權ハ通常地方ニ依テ制限ヲ設ケリト雖モ潮水ノ満干ヲ問ハス凡ソ海水面ニ於テ加ヘタル民事ノ損害ニ限レリトス

前上所謂地方トハ即チ訴訟事件ノ發生シタル場所ニ依テ之ヲ定ムルモノトシ而シテ其場所トハ即チ海上裁判權ノ及フヘキ水面ヲカナルヘカラス然レモ損害ノ場合即チ豫メ契約ヲ結ビタル時ハ無論海上裁判權ニ屬スヘシト雖モ偶然船舶上ニ於テ權利及ヒ義務ヲ違背シタル為

ノ損害ヲ加ヘタル場合ニ係ル民事上ノ裁判権
ニ至テハ其船舶ノ關係者ノ關係ニ依テ之ヲ定
ムルヤ否ヤニ至テハ頗ル疑惑ヲ免レサルベシ
又茲ニ海水浴ヲ試ミタル教人ノ農夫中ノ一名
他ノ一名ヲ毆打シ或ハ監禁シ或ハ強奪シタル
場合ニ當リ海上裁判所ハ其損害ニ関スル訴訟
ヲ裁判スルノ権力アルヤハ未タ我國ニ於テ決
定セサル所ナリ
○又一方ハ船長或ハ士官他ノ一方ハ船員若ク
ハ船客ノ間ニ起リタル闘毆監禁若クハ其他身
体上ノ損害或ハ不良ノ遇待ニ係ル訴訟ハ即チ
海上裁判権ニ屬スルヲ明々白々トシテ疑ヲ容
レサル所ナリ

司法省

又船長ヨリ船客ニ對シ加ヘタル身体上ノ損害
ハ創傷ノ如キ直接ノ暴行或ハ其他ノ損害ナル
ヲ問ハス總テ海上裁判所ニ於テ之ヲ裁判スル
ノ権アルモノトス
允ソ船長ハ相当ノ食料、便利、供給及ヒ慈仁ニ関
スル場合ニアラサレハ船室及ヒ人ノ生活上ニ
就キ船客ト契約ヲ結フヲ得サルモノトス但
シ婦人ノ場合ニ在テハ此他尚ホ淫行、汚節及ヒ
其黙認ニ関スル定約ヲモ為スヲ得サルモノ
トス
若シ此等ノ諸件ヲ壓制及ヒ詐欺ニ因テ行ハレ
ノタル中ハ恰モ毆打ノ場合ト等ク裁判所ニ於
テ之ヲ處刑スルモノトス

最上裁判所規則第十六条ニ依レハ凡ソ殴打及
ニ闘争若クハ折傷ニ関スル諸般ノ訴訟ハ総テ
人權ニ限ルヘキモノト制定セリ蓋シ此事タル
單ニ損害ノ名義ヲ以テ闘毆ノ訴訟ヲ提起シタ
ル場合ニ止マルト固ヨリ疑ヲ容レスト虽凡然
レモ若シ其訴訟船客ヲ安全ニシテ損害ナク運
送セラルカ又ハ相当ノ慈仁ヲ以テ船客若クハ
船員ヲ待タサル場合ノ如キ全ク契約ニ関スル
訴訟ヲ起シタル中ニ當リ其契約ノ違背タルヤ
即チ殴打折傷ヲ加ヘタル原因タル時ニ於テハ
其訴訟ハ即チ船舶ニ對スル物權ノ訴訟タルト
明瞭ナリトス然リト虽凡被害者ノ性命ニ係ラ
サル身体上ノ損害ニ関スル訴訟ハ海上裁判所

司法省

ニ於テ之ヲ判決セサルノミナラス州ノ法律上
ニ於テモ海上ニ於テ加ヘタル此ノ如キ損害ニ
関スル訴訟ヲ受理スヘキ所ヲ定メス此他身体
上ノ損害ノ場合ニ於テ其賠償ヲ求ムルノ訴訟
ノ如キモ亦海上裁判所ニ於テ受理セサルモノ
トス
凡ソ掠奪及ニ損害賠償ノ訴訟ハ海上裁判權ニ
屬スルモノトス但シ不正ノ差押或ハ海上ニ於
テ船舶若クハ貨物ヲ強奪スル彼ノ海上ニ於テ
抗拒スヘカラサル威カヲ以テ財物ヲ掠奪スル
者即チ海賊ヲモ此範圍内ニ在ルモノトス
此場合ニ於テハ被害者ハ其財物若クハ財物ヨ
リ生スル所得ニ係リ之レカ回復ヲ求メ或ハ其

加害者ニ係リテ之レカ損害賠償ヲ求ムヘキモ
ノトス
又大洋ニ於テ起リタル諸般ノ強奪ハ即チ海上
ノ損害ナルカ故ニ此等ノ訴訟ハ總テ海上裁判
所ノ権内ニ屬スヘキモノトス此他請求及ヒ所
有権ニ係ル訴訟モ亦同一ナリトス
此等ノ場合ニ在テハ現ニ財物ヲ掠奪セラレタ
ル船主ヨリ其回復ヲ求ムルヲ得ヘキモノト
ス但シ此場合ハ分捕ノ財物及ヒ不正ノ戦利ト
判定セラレタル船舶及ヒ船長ニ於テ公正ノ権
力ナク或ハ不正ノ方法ニ依テ賣却シタル船舶
ノ回復ヲ求ムル訴訟ヲモ亦包含スルモノトス
凡ソ船舶ノ衝突ニ係ル訴訟ハ總テ海上裁判所

司法省

ノ権内ニ屬スルモノトス然レモ前キニ地方區
畫内及ヒ港湊内ニ在テ生シタル諸般ノ衝突事
件ハ該廳ノ権内ニ屬スヘカラサル議アリタリ
ト雖モ現今ニ至テハ湖河ノ如キ航行ニ堪フヘ
キ水面及ヒ海面或ハ港湊及ヒ地方區畫内ニ於
テ生シタル諸般ノ衝突事件ハ總テ該廳ノ権内
ニ歸スヘキモノト議決セラレタリ但シ物權ニ
係ル訴訟ハ犯罪ノ物件ヲ発見シタル地又人権
ノ訴訟ニ於テハ被告人住居ノ地ニ於テ出訴ス
ヘキモノトス
○海上民事ノ訴訟ニ就キ地方裁判所ノ権限ハ
他ノ裁判所ノ権限トハ全ク異ナルモノトス
又州裁判所ニ在テモ前上ノ訴訟ヲ受理スル

ヲ得サルノミナラス州ノ立法議院ニ於テモ亦
州裁判所ヲシテ即チ海上訴訟ノ眼目タル物推
上ノ訴訟ニ依テ差押權ヲ執行セシムヘキ權カ
ヲ附與スルヲ能ハサルモノトセリ是レ他ナシ
普通ノ法律ニ於テ允ソ議院ハ州裁判所ニ關ス
ル司法權即チ裁判權ヲ論議スルノ權ナキモノ
トスレハナリ

夫レ然リ故ニ普通裁判所ノ權限ニ就テハ自ラ
論議ヲ容レサルヲ以テ頗ル緊要ナリトシタル
カ故ニ遂ニ彼ノ海上裁判所規則第十二条ノ改
正ニ因テ人民ハ現ニ内国船ニ對シ供給ヲ附與
シタル場合ノ如キ全ク其權利ヲ失フニ至レリ
蓋シ該条ノ改正タル純然タル慣例ニ出テタル

司法省

規則ヲ廢シテ法律ニ基キタル最モ重要ナル良
法ト爲シタリト虽氏此際一種ノ保護線ヲ全ク
消滅セシメタリ此ノ如キ変更ヲ施シタルヤ抑
如何ナル議論ニ因テ然ルヤ世ニ公ケニセサル
ヲ以テ余輩之ヲ知ルニ由ナシト虽氏裁判所ハ
如何ナル職權ニ因テ此ノ如キ法律上ノ変更ヲ
施スルヲ得ルヤ否ハ頗ル了解シ能ハサル所ナ
リ何トナレハ該裁判所ノ權限ハ成法ニ依リ裁
判事務ヲ處理スルニ止マルモノナレハナリ
此故ヲ以テ今日國家ニ有益ナル我カ商業ヲ隆
盛ナラシムル船舶ノ功用ヲ贊成マル者ト虽氏
全ク普通又ハ州裁判所ニ對シ通常ノ救護ヲ仰
クテ得サルモノト爲シタリ

故ニ此場合ニ関スル契約ハ常ニ海上契約ナリ
トシ而シテ右契約ヲ裁判スヘキ権ヲ有スル裁判
所ニ在テハ該契約ヨリ生スル偶然ノ事件ヲモ
裁判シ且ツ其救護ヲ施ス得ヘキモノト判
定セリ

然レモ此ノ如キ海上契約船舶差押権ノ属スルモノ
ニテ全ク海上裁判所ノ管轄及ヒ保護ヲ受クヘ
キモノナルモ何ナル法律若クハ契約ニ依ル
トテ問ハス裁判所ニ於テ其差押権ノ執行ヲ拒
絶スル得ヘキヤハ更ニ瞭然タラサル所ナ
リ

此場合ニ於テハ裁判所ハ苟モ其職務上ノ事件
ニシテ且ツ請求ヲ起スヘキ權利アル者ヨリ其

司法省

保護ヲ仰キタルニ於テハ憲法及ヒ法律ヲ以テ
附與シタル職權ノ執行ヲ拒ム得サルモノ
トス

若シ其附與セラレタル職權ヲ行フ得テ拒ムニ
於テハ猶ホ其附與セラレサル職權ヲ執行スル
場合ト等ク即チ職務ニ違背スルノ所為ナリト
ス

夫レニ国ノ主權トシテ政府ニ附與シタル海上
事件ノ裁判權ノ區別如何ハ業既ニ詳論シ去レ
リト雖モ然レモ曩キニ共和政治ノ創業者カ政
府ニ附與シタル諸般要件ノ一タル被ノ裁判方
法ノ如何ハ未タ説明セサル所ナリ
允ソ判決ノ事例ノ如キモ此書中蒐集シタル事

例中既ニ陳腐ニ属シタルモノ少カラス往キニ
海上裁判権限ノ盛ニ擴張セラレタル際ニ在テ
ハ苟モ重要ナル問題アルキハ常ニ公然タル議
論ニ附シ而シテ之ヲ判定スヘキモノトシタルカ
故ニ其判決ノ如キモ其當ヲ得タルモノト省做
シタリ然レニ開化進歩ノ今日ニ至テ時トシテ
充分ノ議論ヲ尽サル為メ生シタル誤謬ヲ他
ノ事件ヲ審理スル際ニ當テ察見シテ往々之ヲ
裁判所ニ於テ訂正スルヲ怠ラサリシト雖モ
此ノ如キ不良ノ判例ト雖モ數年ノ間法律トシ
テ之ヲ収用シタリ
然レニ一兩年以來大ニ立法及ヒ司法上ノ意
見及ヒ理論ノ体ヲ一變シテ頗ル改良ニ至リ之

司法省

カ為メ従前海上裁判ニ関スル事件上往々判事
一個ノ意見及ヒ時トシテ裁判所ノ判定ヲ以テ
左右シ来レル彼ノ一州ノ権力ヲ重シ一國ノ權
カヲ蔑如シタル如キ議論ノ趣旨ヲモ亦從テ變
更シ而メ正当ノ理論ヲ生スルニ至レリ
夫レ比附援行ノ法ハ實際正当ニ適用スルキハ
一種欠クヘカラサル要法ナリトス故ニ若シ類
似ノ事件ニシテ即チ先例ニ依テ其判決ヲ下ス
場合ニ在テハ之ニ引照シタル判例ハ即チ法律
上頗ル重要ナル証拠ト為スモノトス
然レモ若シ反對ノ証アルキハ之ヲ駁撃スル
ヲ得ヘキカ故ニ苟モ其駁撃直ニ歸シタルキハ
該証拠ハ乃チ消滅スルモノトス

凡ソ法律ニ及對シタル誤謬ノ判決ハ之ヲ例ト
シテ他ノ事件ヲ判決スル充分ノ理由ニ供スル
トヲ得サルモノトス
又數多ノ例ニ依リタルノミニシテ別段議論ヲ
尽サスシテ下シタル判決ト雖モ猶ホ一種ノ判
決ナリトスルカ故ニ他日ニ至リ更ニ之ヲ引照
スルモ妨ケナシトス
今ヤ判決ヲ下スニ當リ常ニ問題トヌル所ハ即
チ其法律ノ如何及ヒ引照判例ノ權衡如何ヲ見
ルニアリ蓋シ特別ノ事件ヲ判決スル場合ニ在
テハ判事ハ判例ヲ列記スヘキモノトスレモ若
シ之ヲ法律上ノ証拠ニ供スルハ唯其權衡如
何ヲ比較スヘキモノトス故ニ判事一名ノ議論

司法省

ニシテ他ノ數名ノ意見ヨリ勢力ヲ得ルノ場合
ナキ能ハサルナリ又或ハ同種又ハ類似ノ判例
アリ又往々再議再考ニ附セサルヲ得サル反對
抵觸ノ判決アルヲ免レサルナリ
故ニ此等ノ参考ノ為メ數年間慣例、衡平、及ヒ海
上ノ諸部ニ於テ緊要トシタル不法ノ判例ヲ蒐
集シタル目錄ヲ作為シ既ニ之ヲ印刷ニ附シタ
リ今其例ヲ掲レハ彼ノ「ウオルレス」各第十五葉
ニ掲ケタル「イীগル」ノ訴訟ニ於テ凡ソ海上裁
判權ハ廣ク水上ニ關係スルモノナルカ故ニ苟
モ航行シ得ヘキ水面ハ總テ其管轄ニ屬スヘキ
モノト判定セリ然ルニ又轉シテ一千八百八十
九年ノ司法條例及ヒ一千八百四十五年ノ決議

法第九節ニ依レハ此事ニ就キ特別ノ条項ヲ明
示シテ曰ク凡ソ航行シ得ヘキ水上、港、渚、灣、川、湖
海及ヒ大洋ニ於テ發生シタル事件ハ別段ノ成
文法アルニ拘ハラズ總テ海上裁判權ニ屬スヘ
キモノトス是レ即チ海上裁判權ニ屬スヘキ事
件ノ大要ヲ示シタルモノトス
今又ホーウアーボード各中ゼ子シーチーフノ事件
又該各中マダグノリアノ事件ウオルレス各中ハ
イシヨリトレボルニ係ル事件ホーウアーボード各
中アルレンヨリニウベリニ係ル事件及ヒマ
ガイルヨリガードニ係ル事件及ヒウオルレス
各中バルファーストノ事件ノ判決ニ依レハ立法
上ノ制限及ヒ允可ハ無効タルヘキモノト判定

司法省

セシカ如キ比々是ナリ
然レ氏今ヲ距ル二十年以前此各ヲ初メテ出版
スル片ニ當リ余輩ハ海上法ニ關シテ實際ノ便
益ヲ謀ル目的ノ為メ嚴然法理上ノ限界ニ依ラ
ズシテ全ク實際ノ目的及ヒ辨用ト事件及ヒ質
易ノ趣旨ニ從テ之レカ管轄ヲ定メ而シテ水上ニ
關スルノ原則ニ基キ苟モ航行シ得ヘキ所ハ總
テ海上裁判權ニ屬スヘキノ議論ヲ試ミタルニ
現今最上司法權ニ於テモ之ヲ確認スルニ至レ
リ

今ヤ將ニ期望セントスルモノハ他ナシ前上ノ
最上權ニ於テ更ニ審議討究シ以テ左ノ件々ヲ
一定セテレントヲ即チ水面ヲ馳航スル船舶ノ

航行シ得ヘキ所ハ總テ貿易上ノ關係ニ因テ海上裁判權ニ屬スヘキヲ又航行シ得ヘキ水面ハ獨リ船舶ヲ浮メタルノ場合ニ限リ海上裁判權ニ屬スヘキヲ及ヒ船舶ノ所有主、建造者、修理人、雇船人、貨物積込人、保険人、各人質ノ債主、救助人、及ヒ債主ノ如キハ總テ海上裁判權ニ屬シ而シテ海上法ノ便益ヲ得且ツ其所為ニ因リ生スヘキ義務ヲ尽シ而シテ該船舶ノ建造若クハ所有或ハ之ヲ奪見シタル場所ノ如何ヲ問ハス公平上ノ裁決ヲ請フヘキモノトスルヲ是レナリ
果シテ此ノ如クナラザレハ一日ニ隆盛ニ至ルヘキ海上事件ニ就キ我國ノ人民ハ依然トシテ一定ノ制度ヲ得ルヲ能ハサルヘシ

司法省

允ソ合衆國ニ任シタル司法權ヲ司法部内即チ人民ノ要求ニ係リ事ノ大小輕重ヲ問ハス苟クモ權内ニ屬スルハ之ヲ處理スヘキ權ヲ有スル司法官又ハ裁判所及ヒ高等裁判所ニ於テ制定シタル場合ニ在テハ即チ各州人民ノ權利ヲ増殖シタルト同一ノ勢力信用平和及ヒ感觸ヲ来スモノトス
故ニ國內到ル所裁判所ノ設ケアラサルナキニ至リ又地方及ヒ人民ノ損害ニ係ルハ場所ノ如何ナルヲ問ハス總テ之ヲ受理シ而シテ内外人民ノ保護ヲ尽サンコトヲ希望スルナリ
又裁判上德義ヲ重スルコト是亦國民無上ノ便益ナルカ故ニ裁判所ニ在テハ彼ノギツボンスヨ

リヲダシニ係ル訴訟ニ於テ判事長マルシヤ
ルノ所謂「合衆國人民ノ獨立ハ政府ノ希望スル
所」タリトノ一語ニ因リ正当ニ之ヲ保存スルノ
義務アリトス

諸制法

○手数料ノ事

合衆國ノ巡回裁判所及ヒ地方裁判所等ノ書
記官、命令執行官及ヒ代言人等ノ徴収ス可キ
手数料訴訟入費等ヲ規定シ及ヒ其他ノ目的
ノ為ノ頒布スル決議

爰ニ合衆國上下兩院ノ承諾ヲ以テ當國會ニ於
テ議決スルト左ノ如シ

司法省

人又ハ合衆國地方裁判所巡回裁判所、合衆國
地方ノ代言人書記官及ヒ諸州ノ命令執行官、証
人、陪審官、委員官、印刷者等ノ徴収ス可ク定メタ
ル手数料ハ之ヲ廢棄ス然レテ後左ノ手数料
ヲ徴収スヘシ但シ此決議ハ代言人代訴人代弁
人等ノ苟クモ政府ヲ除クノ外其使役ノ報償ト
シテ其本州ノ習慣ニ依リ若クハ双方間ノ契約
ニ依テ徴収スルヲ得可キ謝金ヲ其托訟者ニ賦
課シテ之ヲ徴収スルトヲ禁スルモノト了解ス
可カラス

代言人代訴人及ヒ代弁人等ノ手数料

總テ民事上ノ訴訟、陪審訊問又ハ仲裁人ノ
審問又ハ衡平裁判所海上裁判所等ノ終審ノ審

問等ニ付テハ審問始末ノ手数料ハ二十弗タル可シ
然レモ海上航海上ノ裁判権内ニ属スル訴訟ニ於テ若シ其訴訟人ノ五十弗以下ノ金額ノミノ外収復セサル時ハ其代弁人ノ徴収ス可キ審問始末ノ手数料ハ十弗タル可シ
又總テ令状及ヒ其他ノ處分状ヲ受クルノ手数料ハ五弗タル可シ
又總テ訴訟ノ証拠トシテ徴収シタル口書ノ手数料ハ一通毎ニ二弗五十セントタル可シ
若シ正誤状若クハ控訴状ヲ以テ地方裁判所ニ於ケル訴訟ヲ巡回裁判所ト移シタル時ハ其使役ノ報償トシテ五弗ヲ徴収スルヲ得可シ

司法省

若シ合衆国ノ裁判所若クハ地方裁判所ト訴訟ヲ提起シテ之ヲ管理ス可キトテ承諾シタル代弁人代弁人又ハ其他ノ者ノ不当ニ其訴訟ノ手續ヲ増加シテ其訴訟入費ヲ増殖スル時ハ裁判所ノ命令ニ依リ其増殖シタル入費ヲ賠償ス可キ求メテ受クルヲアル可シ

書記官ノ手数料

總テ處分状委任状召喚状拘引状裁判執行状逮捕状封産状及ヒ其他ノ令状ヲ發出シテ之ヲ簿冊ニ登記スルノ手数料ハ苟クモ陪審ノ召集状ト証人ノ呼出状トヲ除クノ外其一通毎ニ一弗タル可シ

又總テ陳述書并論書及ヒ其他ノ書類ヲ簿冊ニ

登記スルノ手数料ハ一通毎ニ十セントタル可

シ又證人及ニ其他ノ者ヲシテ誓約或ハ保認等ヲ
為サシムルノ手数料ハ陪審ヲ除クノ外一度毎
ニ十セントタル可シ

又總テ復命規則命令審問ノ延期裁判裁決兼認
等ヲ簿冊ニ登記シ又ハ証書ヲ作成シ又ハ裁判
記録查明書復命各報告各等ヲ作成スルノ手数料
料ハ一葉毎ニ十五セントタル可ク又此等ノ登
記記録其他簿冊ニ綴入シタル各類等ノ謄本ヲ
作成スルノ手数料ハ一葉以下十セント一葉以
上ハ一葉毎ニ十セントタル可シ

又總テ訴訟ノ本業ノ終結シ且証人ノ訊問ヲ為

シタル訴訟ノ審問ノ始末書各類ノ目錄等ヲ造
リ其他其訴訟ノ審問弁論等ニ付為シタル使役
并ニ陪審ノ召集狀訴訟入費ノ徴收等ノ手数料
ハ三弗タル可シ

又訴訟ノ本業ノ終了シテ一モ証人ノ訊問ヲ為
サル訴訟ニ付其審問ノ始末各各類ノ目錄等ヲ
造リ其他其訴訟ノ審問弁論等ニ付為シタル使
役并ニ訴訟入費ノ徴收等ノ手数料ハ二弗タル
可シ

又総て裁判所ヨリ却下ニ或ハ訴訟人ヨリ願下
ノ為ニタル訴訟又ハ本案ノ弁論ナクシテ裁判
言渡ヲ為シタル訴訟ニ付審問ノ始末各書類ノ
目録等ヲ造リ及ヒ其他ノ使役ヲ為シタル手数
料ハ一弗タル可シ

又衡平裁判所海上裁判所等ニ於ケル訴訟ニ付
テハ唯タ処分状弁論各裁決各其他其裁判所ニ
於テ裁判権ヲ有スルトト訴訟手續ノ合法ナル
トトテ証明スルニ必要ナル命令記録等ノミ之
ヲ終審ノ裁判簿冊ニ登記ス可ク又若シ控訴ヲ
為シタル時ハ証拠書類ノ謄本及ヒ其他其控訴
ノ審問ニ必要ナル簿冊中ノ登記書類等ヲ控訴
裁判所ニ送附ス可シ但シ訴訟人ヨリ求メテ受

司法省

ケテ証拠書類ニ裁判所ノ官印ヲ鈐スル時ハ其手
数料ハ二十セントタル可シ
又証人ノ呼出状ヲ發出スルノ手数料ハ一通毎
ニ二十五セントタル可シ
又総て制法ノ規則ニ從ヒ又ハ裁判所ノ命令ニ
依テ貨幣ヲ領收シ或ハ保有シ或ハ弁償スルノ
手数料ハ其領收シ保有シ弁償シタル金高ノ百
分一タル可シ
若シ正誤状若クハ控訴状ヲ以テ初審ノ訴訟ヲ
他ノ裁判所ニ移シタル時ハ書記官ノ其始末各
ヲ造リ及ヒ訴訟入費ヲ徴収スルノ手数料ハ唯
タ一弗タル可シ但シ地方裁判所巡回裁判所等
ノ書記官ハ其職権ニ依リ委員官ト同一ノ方法

ヲ以テ人ヲシテ誓約ヲ為サシメ又ハ保認ヲ為
サシメ又ハ口唇証人ノ陳述唇等ヲ徴収查明ス
ルノ権アリ可ク然シテ委員官ト同一ノ手数料
報償等ヲ受クルノ権アリ可シ

命令執行官ノ手数料

總テ逮捕狀封産狀召喚狀拘引狀及々其他ノ令
狀ヲ送達スルノ手数料ハ(裁判執行狀陪審召集
狀証人ノ呼出狀等ヲ除ク、外)其送達ヲ受ク可
キ者ノ一名毎ニ二弗タル可シ然レモ若シ誓約
ノ上唇面ヲ以テ事實ヲ申明スルニ於テハ裁判
所ニ於テハ裁判所ニ於テ查明ノ上其半途ノ処
分ニ依テ封産シタル動産ヲ保有スルノ賠償ト
シテ至当ナリト認定スル手数料ヲ徴収セシム

司法省

ルヲ得可シ又証人ノ呼出狀ヲ送達スルノ手
料ハ一通毎ニ五十セントタル可シ但シ証人ニ
膳本呼出狀告知唇等ヲ送達スルニ付テハ其他
ノ手数料ヲ徴収スルヲ許サス
又總テ処分狀逮捕狀封産狀及々其他ノ令狀并
ニ民事事上ノ訴訟ニ関スル証人ノ呼出狀等ヲ
送達スルノ旅行セシ旅費ハ其送達ヲ為ス可
キ場所ヨリ其令狀ノ被命ヲ為ス可キ裁判所若
クハ場所ニ至ル迄ノ間一マイル毎ニ六セント
タル可ク若シ一名以上ノ人ニ送達ヲ為ス時ニ
於テハ其旅行ノ里數ハ裁判所ヨリ其送達ヲ為
ス可キ最モ速隔ナル場所ニ至ル迄ト及々他ノ
場所ニ送達ヲ為スニ必要ナル其支路ノ里數ヲ

合シテ之ヲ計算ス可シ然レモ若シ同一ノ人ノ
為ノ同時ヲ以テ同一ノ人ニ一通以上ノ令状ヲ
送達スル時ハ其旅行ノ旅費ハ令状二通分ノ旅
費ノ外之ヲ徴収スルヲ得ス然シテ昏記官ノ証
人ノ呼出状ヲ發出スルニ當ラハ無用ノ贅費ヲ
避クル為ノ其職推ヲ以テ其送達ノ便宜ニ從ヒ
一通ノ呼出状ニ証人姓名ノ姓名ヲ記入ス可シ
但シ此決議ニ依リ總テ命令執行官ノ旅費ヲ受
クルヲ得可キ場合ニ於テハ之ヲ領収スルモ又
ハ誓約ヲ以テ其旅行ノ実費ヲ裁判所ニ証明シ
タル上之ヲ徴収スルモ一ニ其所好ニ依ル可シ
又保釈証昏ノ手数料ハ一通毎ニ五十セントト
ル可シ

司法省

又評價人ヲ召喚スルノ手数料ハ一度毎ニ五十
セントトタル可シ
又囚徒ヲ監禁シ又ハ之ヲ放免スルノ手数料ハ
一度毎ニ五十セントトタル可シ
又海上裁判所ノ公告ヲ為ス手数料ハ一公告毎
ニ三十セントトタル可シ
又海上裁判所ノ処分ニ依リ或ハ其命令ニ依テ船
舶或ハ其他ノ財産ヲ賣却シテ其代金ヲ領収并
償スルノ手数料ハ若シ其代金ノ五百弗以下ニ
係ル時ハ其代金ノ百分ノ二分半タル可ク若シ
又五百弗以上ニ係ル時ハ其代金ノ百分ノ一分
ト四分一タル可シ

又海上裁判所ニ提起セシ物權ニ對スル訴訟ノ

訴訟、封産状或ハ船舶ニ對スル訴訟ノ訴状等
ヲ送達スルノ手数料ハ二弗タル可ク又海上裁
判所ヨリ押封シ或ハ之レニ告訴ヲ為シタル端
船舶或ハ其他ノ財産ヲ看守スルノ費用ハ一
日ニ付二弗五十セント以上ニ上ル可カラス但
シ財産ヲ賣却セシテ双方ノ者ノ熟談ヲ以テ
其負債或ハ討求ヲ決定シタル場合ニ於テハ命
令執行官ハ若シ其討求或ハ決定セシ金高ノ五
百弗以下ニ係ル時ハ其手数料トシ其金高ノ百
分一ノ手数料ヲ受クルヲ得可ク若シ又其金高
ノ五百弗以上ニ上ル時ハ百分一ノ折半ヲ受ク
ルヲ得可シ然レモ若シ其財産價額ノ其討求ノ
金高ヨリ少額タル時ハ其手数料ノ比例ハ其財

司法省

産ノ評價ノ價額ニ依ル可シ
又財産所有ノ令状分配状裁判執行状及ヒ其他
終審ノ処分ノ令状ヲ送達スルノ手数料ハ他ノ
令状ノ送達料ト同一タル可ク又法律ニ從テ財
産ヲ収奪シ没収シ或ハ之ヲ賣却シ或ハ差引計
算ヲ為シ或ハ其他ノ使役ヲ為スノ手数料ハ各
州ノ命令執行官ノ同一ノ使役ノ手数料トシテ
徴収ス可ク定メタルモノト同一タル可シ
又原告人ノ求メニ依テ之レニ令状或ハ其他
ノ書類ノ謄本ヲ交附スルノ手数料ハ一葉毎ニ
十セントタル可シ

委任官ノ手数料

総テ人ヲシテ誓約ヲ為サシムルノ手数料ハ十

セントタル可ク又保認ヲ為サシムルノ手数料ハ二十五セントタル可シ
又法律衡平法上ノ民事ノ訴訟又ハ海上裁判所
ニ於ケル民事ノ訴訟ニ付裁判所ノ命令ニ従テ
出廷スルノ手数料ハ一日ニ付三弗タル可シ
又裁判所ニ提供ス可キ口唇ヲ領収シテ之ヲ査
明スルノ手数料ハ百語詰一葉ニ付二十セント
タル可ク又原被告人ノ求メニ依テ之ニ其口
唇ノ謄本ヲ交附スルノ手数料ハ一葉ニ付十セ
ントタル可シ
又逮捕状令状等ヲ發出或ハ其他ノ使役ヲ為ス
ノ手数料ハ書記官ノ同一ノ使役ノ手数料トシ
テ徴収ス可ク定メタルモノト同一ナル可シ

證人ノ手数料

司法省

總テ法律ニ従テ裁判所或ハ官吏ノ面前ニ出席
スルノ手数料ハ一日ニ付一弗五十セントタル
可ク又其住所ヨリ其審問ノ場所ニ至ル迄旅行
スルノ費用ハ一マイルニ付五セント其歸路モ
亦一マイルニ付五セントタル可シ但シ同一ノ
裁判所ニ提起セル同一ノ原被告人間ノ各々異
ナル一件以上ノ訴訟ニ付呼出ヲ受ケタル時ハ
其往復旅費ト一日毎ノ費用トノ外尚ホ其出廷
費用トシテ其証人ニ供セラルタル弗一ノ訴訟
ニ付徴収ス可ク定メタル報償ヲ受タルヲ得可
シ然レモ弗一以下ノ訴訟ニ於ケル一日毎ノ費
用ハ其証人ニ供セラル可キ順序ニ従ヒ各々其
証人ニ供セラルタル時ヨリノ費用ヲ徴収ス可

若シ証人タル者、其出廷ノ祖保ヲ提供セサル
為ノ獄舎ニ拘留セラレタル時、其食料ノ外一
日ニ付一弗ノ報償金ヲ受クルヲ得可シ

印刷者ノ手数料

総ニ新聞紙ニ法律上掲載ス可ク定メタル制法、
報知、命令等ヲ掲載シ又ハ裁判所、官省、局縣或ハ
其他ノ者、合法ノ法令、命令ヲ掲載シテ之ヲ
公告スルノ手数料、其掲載ノ初日ニ付テハ一
葉ニ付四十セント、爾後ノ掲載ニ付テハ一葉ニ
付二十セントトタル可シ、但シ本条ニ定メタル手
数料ヲ受ケタル上ハ之ヲ以テ其公告ヲ為ス可
キ印刷者或ハ公告者ノ為ス可キヲ誓約スル

司法省

合法ノ証拠ト為ス可シ
此決議中ニ記載スル「一葉トハ一字ヲ以テ一語
トシ百語ヲ以テ一葉トス、若シ五十語以上百語
以下ニ係ル時ハ亦之ヲ一葉ト為ス可シ、然レモ
五十語以下ニ係ルモノハ苟クモ其掲載スル制
法、報告、命令等ノ全部五十語以下ニ係ル時ニア
ラサルヨリハ之ヲ一葉ト為ス可カラズ

賦課ス可キ訴訟入費

総テ書記官、命令執行官、代言人等ノ手数料、目録
ノ金高印刷者証人等ニ年償ス可キ金高及ビ審
問ノ使用ニ供スル為ノ受ケタル必要ナル各類
ノ謄本ノ合法ナル手数料等ハ若シ法律上敗訴
人ヨリ訴訟入費ヲ徴收スルヲ得可キ際ニ在テ

ハ判事若クハ裁判所、書記官ヨリ之ヲ賦課シ
テ其裁判ノ言渡中敗訴人ニ對シテ其言渡ヲ為
ス可ク然シテ其賦課シタル金高ノ目錄ハ之ヲ
其訴訟昏類中ニ添置ク可シ

戦利ニ関スル訴訟ノ入費

総テ戦利ニ関スル訴訟ニ於テ若シ其戦利物ノ
不正ナリト決シテ之ヲ賣却シタル時ハ其訴訟
入費ハ其訴訟ニ付当然弁償ス可キモノニシテ
其賣却ノ所得ヲ以テ弁償スルヲ得ルニ至ル迄
裁判所ノ命令ニ從テ之ヲ弁償ス可ク然ル時ハ
其賦課シタル金高ノ目錄ヲ作りテ之ヲ其訴訟
昏類ニ添置ク可シ

千八百五十三年二月二十六日認可

司法省

○合衆国ノ委員官ノ事

合衆国裁判所ノ推内ニ属スル民事ノ訴訟ニ
於ケル口昏保釈証昏等ノ徵收方ヲ改良スル
ノ決議

爰ニ合衆国上下両院ノ承諾ヲ以テ当國會ニ於
テ議決スルヲ左ノ如シ

第一条

各地方ニ開設ス可キ合衆国ノ巡回裁判所ニ於
テハ若シ其地方ノ現行ノ法律上(法律上当然徵
收スルヲ得可キ)民事ノ訴訟ニ於テ口昏保釈証
昏等ヲ徵收スルノ規則ノ不充分ナルカ又ハ
其地方ノ廣狹ノ如何ニ依テハ其地方ノ諸所ニ
於テ裁判所ノ必要ナリトスル人負ノ看守人ヲ

命スルヲ不便タル時ハ保釈証昏昏等ヲ徴收スルヲ得可シ但シ其保釈証昏昏等ヲ諛裁判所ノ判事ノ面前ニ於テ徴収セシモノト同一ノ効力アル可ク何人ニ依ラズ若シ其口昏ニ依リ詐偽ノ誓約ヲ為ス時ハ諛裁判所ノ判事ノ面前ニ於テ此等ノ口昏ヲ徴収シタル時ト同一ノ刑ニ処ス可シ

第二条

此等ノ保釈証昏昏等徴收スルニ就テハ之ヲ徴收スル本州ノ法律上同一ノ使役ノ手数料トシテ徴収ス可ク定メタルモノト同一ノ手数料ヲ徴收スルヲ得可シ

第三条

司法省

総テ合衆国ノ裁判所ニ提起セル訴訟ニ於テハ事實参考ノ為メ徴収シタル証人ノ口昏ト雖モ其訴訟ノ起リタル本州ノ裁判所ニ於テ其州ノ法律上認めトシテ受容スヘキモノハ裁判所ニ於テ其特権ヲ以テ之ヲ認めトシテ受容スルヲ得可シ

千八百十二年二月二十日認可ス

合衆国裁判所ノ権内ニ属スル民事ノ訴訟ニ於ケル口昏保釈証昏昏等ノ徴収方ヲ改良スル決議ニ追加スルノ決議

爰ニ合衆国上下兩院ノ承諾ヲ以テ当國會ニ於テ議決スルヲ如シ

総テ合衆国裁判所ノ権内ニ属スル民事ノ訴訟

ニ於ケル口唇保釈証昏等ノ徵收方ヲ改良スル
決議ニ依リ既ニ命セラレ若クハ将来命セラル
可キ合衆国ノ委員官ハ民事ノ訴訟ニ於テ合衆
国諸方ノ地方裁判所ニ於テ採用スル口唇保釈
証昏等ヲ徵收スルノ権アル可ク且合衆国裁判
所ノ判事ノ合衆国裁判所設立ノ決議ノ才十三
条ニ依リ行フヲ得可キ總テノ権力ヲ行フノ権
アル可シ

一千八百七十七年三月一日認可ス

○豫収ノ口供ノ事

合衆国裁判所設立ノ決議

第三十條

總テ合衆国ノ裁判所ニ於テ其訟廷ニ在テ証人

司法省

ノ陳述ト訊問トヲ以テ証拠ヲ徵收スルノ方法
ハ衡平法上ノ訴訟ト海上航海ノ裁判権内ニ
屬スル訴訟トノ審問ニ於テモ又ハ法律上ノ訴
訟ニ於ケル審問ニ在テモ共ニ同一ノ方法ヲ以
テ不可シ然シテ何人ニ依ラズ合衆国ノ裁判所
ニ提赴セシ地方ニ於ケル民事ノ訴訟ニ付其口
供ヲ徵收スルノ必要ナク者ノ若シ其審問前
其審問ヲ為ス可キ場所ヨリ百マイル以外ニ住
居スルカ若クハ海上ニ航行セントシ或ハ合衆
国外ニ旅行セントスルカ若クハ其地方外ニ在
リテ其審問ヲ為ス可キ場所ヨリ百マイル以外
ニ住居スル時又老人ニシテ大ニ衰弱セシ時ハ
其原被告人ノ代訴代言人ニテラフス又ハ其

訴訟ニ關係ラモアラサル合衆國裁判所ノ判事
或ハ大審院上等裁判所等ノ院長判事或ハ
都府ノ府長判事或ハ區裁判所ノ判事或ハ
合衆國「コンモニアス」廳ノ判事ノ中ノ面前
ニ於テ其審問ニ先ツテ豫メ其者ノ口供ヲ徵收
スルヲ得ヘシ然レモ糾問判事ノ其口供ヲ徵收
スルニ當テハ若シ相當ナリト思考スル時ハ先
ツ其報知昏ヲ造リテ之ヲ對手ノ一方若クハ其
代言人ノ中最モ接近ノ地ニ住居スル者ニ送達
シ之レニ其口供ヲ徵收スヘキ日時ヲ以テ其場
所ニ出席スヘキヲ余シテ其豫審ヲ為スヘク
若シ對手ノ一方或ハ其代言人ノ其口供ヲ徵收
ス可キ場所ヨリ百「マイル」以内ニ住居スル時ハ

司法省

其出廷ニ付其報知ヲ為シタル後ヨリ日曜日ヲ
除キ二十「マイル」毎ニ少クモ一日ノ猶豫ヲ與フ
可シ又ハ海上航海ノ裁判權内ニ屬スル訴訟
其他戦利ニ関スル訴訟等ニ於テモ亦若シ其對
手ノ一方ノ者ノ姓名ヲ掲ケサル訴訟ヲ呈致シ
然シテ未メ其討求ヲ為ササル前ニ先ツテ前文
ニ記載スル事情アル者ノ口供ヲ徵收スル時ハ
若シ原告人ノ明知スルニ於テハ其争訟ニ係ル
財産ヲ收奪セラレシ時之ヲ保有セシ者ニ前文
ニ記載セルモノト同一ノ報知ヲ為スヘシ然レ
テ此等ノ口供ヲ陳供ス可キ者ハ各々先ツ之ヲ
シテ眞実ヲ陳述スヘキ旨ノ誓約ヲ為サシメタ
ル上細心注意ヲ加ヘテ之ヲ審問シ其口供ヲ昏

面ニ記載シタル上其者ヲシテ之レニ署名セシム可ク然レテ其口供ヲ唇面ニ記載スルハ之ヲ徴収スル糾問判事之ヲ記載シ若クハ判事ノ面前ニ於テ其証人タル者ヲシテ之ヲ記載セシム可シ然ル上ハ其徴収シタル口供ハ糾問判事之レニ署名シテ至当ノ裁判所ニ送附スルニ至ル迄之ヲ保有シ若クハ其口供ヲ徴収セシ所以ノ理有各及ヒ若シ對手ノ一方ノ者は報知ヲ爲シタル時ハ其報知各等ト共ニ其口供ヲ至当ノ裁判所ニ宛テ之ヲ封印シ該裁判所ニ送附スルニ至ル迄之ヲ保有ス可シ又何人ニ依ラヌ前文ニ記載セルト同一ノ方法ヲ以テ之ニ出廷ヲ要シテ証拠ヲ陳供セシムルヲ得ヘシ又地方裁判

司法省

所ニ於ケル海上航海ノ裁判権内ニ属スル訴訟中其裁決ニ對シテ更ラニ控訴ヲ爲シ得ヘキ訴訟ノ審問ニ於テ其原被告ノ一方ノ者ノ若シ後日其控訴ヲ爲スニ於テハ巡回裁判所ノ前ニ於テ証拠ヲ陳供セシム可キトノ必要タル証人ヲ該裁判所ニ召喚シ能ハサルノ恐レアルニ依リ其証人ノ口供ヲ唇面ニ記載スルトノ必要ナリト思考シテ之ヲ裁判所ニ証明スル時ハ裁判所ニ於テ唇記官ヲシテ其口供ヲ唇面ニ記載セシム可ク然レテ其口供ハ若シ後日其控訴ヲ爲シタル時其控訴ノ審問ヲ爲ス可キ裁判所ニ於テ當時其証人ノ既ニ死ヒシ若クハ合衆國外或ハ裁判所開設ノ地ヨリ前文ニ記載セル里数外

ニ旅行シ又ハ否カラサルモ當時老衰シ或ハ疾
病ニ罹リ或ハ身体疲労シ或ハ監禁セラレテ裁
判所ニ出廷シ能ハサルヲ認定シタル時ハ之
ヲ其控訴ノ証拠トシテ其審問ノ使用ニ供ス可
シト虽氏苟クモ此等ノ事情アルニアラサルヨ
リハ決シテ之ヲ以テ其審問ノ使用ニ供ス可カ
ラス斯ル際ニ在テハ其口供ヲ徴収シタル証人
ヲシテ其訴訟ノ審問ニ出廷セシムルニアラサ
レハ其口供ヲ証拠トシテ其訴訟ノ使用ニ供ス
可カラズ但シ本条中ノ規則ハ合衆國ノ裁判所
ニ於テ裁判ノ延滞ヲ免カル、為ノ必要ナル時
ニ當リ一般普通ノ習慣ニ從テ証人ノ口供ヲ
徴収スル為ノ其諸種ノ方法ニ依テ有スル権カ

司法省

ヲ以テ口供徴収ノ委任狀裁判所に出廷シテ証人ニ依テ口供徴収ハサレキ時裁判所ヨリ他
令狀ヲ云フヲ發出スルヲ禁スルモノニアラ
ス又ハ証拠保存ノ為メ徴収スル証人ノ口供中
若シ其口供ノ合衆國ノ裁判所ニ於テ審判ヲ為
ス可条件ニ関スルニ於テハ巡回裁判所ニ於テ
原被告人中ノ求メニ依リ衡平裁判所ノ資格ヲ
以テ該裁判所ニ於ケル習慣ニ從ヒ徴収ス可キ
トテ命スルヲ得可キ口供ニ至ル迄普及スルモ
ノニモアラザレナリ

千七百八十九年九月二十四日認可ス

○ 証拠徴収ノ委任ノ事

某訴訟ニ付合衆國ノ裁判所ニ於テ証拠ヲ徴

收ムル方法ヲ規定スルノ決議
爰ニ亞米利伽合衆國上下兩院ノ義諾ヲ以テ當
國會ニ於テ議決スルヲ左ノ如シ

第一條

若シ合衆國ノ裁判所ヨリ合衆國內若クハ其所
領内ノ某所ニ於テ証人ノ証拠ヲ徵収ス可キ委
任状ヲ發出スル時ハ其委任ヲ受ケタル某所々
在ノ地方若クハ所領内ノ合衆國裁判所ノ書記
官ハ其受ケタル委任状ノ關スル訴訟ノ原被告
人ノ一方ノ者或ハ其代人ノ求メニ依リ其地方
若クハ所領内ニ住居シ或ハ在留スル委任状中
ニ指名スル証人ニ呼出状ヲ發出シテ之レニ呼
出状中ニ記載スル日時ト場所トニ於テ委任状

司法省

中ニ指名セル委員官ノ面前ニ出席シテ証拠ヲ
陳供ス可キトヲ命スルヲ得ヘク若シ其証人ノ
至當ニ呼出状ノ送達ヲ受クルモ出席スルヲ肯
セス或ハ怠リ若クハ出席シタル後苟クモ証拠
ヲ陳供スルニ及ハサル時許ヲ有セスシテ証拠
ヲ陳供スルヲ肯セサル時ハ書記官之ヲ其附屬
ノ裁判所ニ証明シタル上該裁判所ニ於テ其發
出シタル呼出状ノ呼出ニ應セス或ハ出席シテ
証拠ヲ陳供スルヲ肯セサル者ヲ処分スルト同
一ノ方法ヲ以テ其呼出ニ應シテ出席セシメ又
ハ罰スルヲ得ヘク又此等ノ証人ハ合衆國ノ裁
判所ニ出廷セシ証人ノ受クヘキモノト同一ノ
報ヲ受クルヲ得ヘシ但シ如何ナル証人ト雖モ

此法律ニ從テ証拠ヲ陳供セシムル為ノ其者ノ
住居スル地方外又ハ地方内ト雖モ其住居ノ地
ヨリ四十マイル以外ノ場所ニ出席ヲ求ム可カ
ラス

第二条

又若シ前条ニ記載セル訴訟ノ原被告人一方ノ
者ヨリ前条ニ記載セル証人ノ証拠ヲ徴収ス可
キ場所々在ノ合衆国ノ地方若クハ所領内ノ合
衆国裁判所若クハ其判事ニ昏類帶來ノ呼出状
ヲ發出シテ状中指名ノ証人ニ呼出状中ニ記載
スル日時ト場所トニ於テ前条ニ記載セル委員
官ノ面前ニ出席シテ証拠ヲ陳供ス可キト及
ヒ其所有スル昏類証昏簿冊或ハ其他ノ証拠昏

司法省

類ヲ帶來シテ之ヲ委員官ノ面前ニ提供ス可キ
トトヲ命ス可キ願ヲ為シタル時ハ判事ニ於テ
其願ヲ為シタル一方ノ者ノ口供ニ依リ或ハ其
他ノ方法ヲ以テ其証人ノ果シテ此等ノ昏類証
昏簿冊或ハ其他ノ証拠昏類ヲ所有シテ若シ之
ヲ提供セシムルニ於テハ其願ヲ為シタル一方
ノ者ノ至当ナル主タル証拠ト為ル可キトヲ信
スルニ足ル可キ理由アルトヲ認定シタルニ於
テハ其裁判所附属ノ昏記官ニ命シテ書類帶來
ノ呼出状ヲ發出セシムルヲ得可ク若シ其証人
ノ至当ニ斯ル呼出状ノ送達ヲ受クルモ呼出状
中ニ記載スル日時ト場所トニ於テ委任官ノ面
前ニ呼出状中ニ記載スル已レノ所有スル昏類

証書、簿冊或ハ其他ノ証拠各類ヲ提供セサル時
ハ判事ニ於テ其怠慢タルヲ認定シタル上合
衆國ノ裁判所ニ於テ其發出シタル呼出状ノ呼
出ニ應セサル者ヲ処分スルト同一ノ方法ヲ以
テ其呼出状ノ呼出ニ應セシメ又ハ罰スルヲ得
可ク又若シ其証人タル者ノ此等ノ各類証書簿
冊或ハ其他ノ証拠各類ヲ委任官ノ面前ニ提供
シタル時ハ其願ヲ爲シタル一方ノ者ノ費用ヲ
以テ原被告人ノ要スル負數ノ正確ナル謄本ヲ
作ラシム可シ但シ如何ナル証人ニ依ラス若シ
此決議ニ從テ之レニ宛テ、發出セシ呼出状ノ
呼出ニ應セサルモ苟クモ其呼出状ヲ送達スル
時ヲ以テ之レニ其往復旅費ト日當トヲ弁償シ

司法省

若クハ弁償セント申明シタル時ニアラサルヨ
リハ未タ以テ蔑如ノ罪アリト看做ス可カラス
千八百二十七年一月十四日認可ス

○ 糾問判事ノ職務ヲ行フ可キ委員官ノ事

千七百八十九年九月二十四日ノ頒布ニ係ル合衆國裁判所設立ノ決議ニ追加スルノ決議

爰ニ亞米利伽合衆國上下兩院ノ承諾ヲ以テ當國會ニ於テ議決スルヲ左ノ如シ

第一條

總テ合衆國ノ巡回裁判所ヨリ民事ノ訴訟ニ於ケル保釈証書口書及ヒ証人ノ口供等ヲ徵収ス可キヲ命セラレ若シハ將來命セラル可キ委員官ハ合衆國ノ治安裁判官或ハ其他ノ糾問判事ノ千七百八十九年九月二十四日ノ頒布ニ係ル

司法省

合衆國裁判所設立ノ決議ノ第三十條ニ從テ合衆國ニ對スル犯罪ノ犯人ヲ逮捕シ或ハ監禁シ或ハ保釈ニ附スルト同一ノ権力ヲ行フヲ得ハノ其他治安裁判官ノ千七百九十年七月二十日ノ頒布ニ係ル商人ノ使役ニ從事スル船隻ヲ管理規定スル決議ノ第六條ニ從テ行フヲ得ハキ権力モ亦之ヲ行フヲ得ハシ

第二條

又總テ合衆國ノ治安裁判官又ハ合衆國裁判所設立ノ決議ノ第三十三條ニ依テ命セラレタル委員官ノ訴訟ノ審問ヲ為スニ當テハ若シ其審問ヲ為ス可キ訴訟ノ大洋或ハ其他合衆國ノ海上航海上ノ裁判権内ニ屬スル場所ニ於テ犯カ

シタルコトヲ告訴セラレタル犯罪ニ係ル時其訴訟ノ審問上必要ナル被告人若クハ合衆國ノ証人ト爲スヘキ者ニシテ若シ之ヲシテ出廷ノ保証ヲ爲サシメサル時ハ其証拠ヲ湮滅スルノ恐れアリト認定ス証人ハ其特權ヲ以テ之ヲシテ其相当ナリト判定スル担保ヲ以テ其訴訟ノ審問ニ出席シテ証拠ヲ陳供スヘキコトノ保証ヲ爲サシムルヲ得ヘク又其等ノ証人ハ其審問ノ席ニ出庭シテ証拠ヲ陳供セントセシニ於テハ其滯留出席ノ費用トシテ政府ノ証人タル者ノ受ク可キ通常ノ報償ヲ合衆國ヨリ受クルノ権アルハシ

第三條

司法省

又合衆國ノ地方裁判所ニ於テハ合衆國ニ對スル犯罪ハ苟クモ死刑ニ涉ルヘキ犯罪ヲ除クノ外總テ巡回裁判所ト共ニ同一ノ裁判權ヲ有ス可ク然シテ此等ノ地方裁判所中刑事ノ訴訟ノ審問ノ費用ト延滞トヲ避クル爲メ裁判上其定期ノ閑延ヲ遷延スルコトノ必要ナル裁判所ニ於テハ此等刑事ノ訴訟ヲ審問スル爲メ毎月其定期ノ閑延ヲ遷延スルヲ得ヘシ

第四條

又千七百九十年四月三十日ノ頒布ニ係ル合衆國ニ對スル犯罪ノ刑罰ヲ規定スル決議ナル國會ノ決議第十六條ニ定メラル犯罪ニ科スヘキ刑罰ハ之ヲ廢棄ス然シテ尔後若シ其犯人ノ有

罪ト決シタル時ハ其犯罪ノ性質ト加重トノ景
状トニ從ヒ之レニ千弗ヨリ多カラサル罰金ヲ
科シ若クハ一年ヨリ多カラサル禁錮ニ附シ若
クハ罰金ト共ニ禁錮ノ刑ニ處ス可シ

第五條

又海上裁判所ノ職務ヲ行フ地方裁判所又ハ衛
平裁判ノ職務ヲ行フ巡回裁判所等ハ訴状願書
歎訴状答弁書弁論書及ヒ其他ノ訴答弁論各等
ヲ提供シ又ハ半途或ハ終審ノ處分状及ヒ委任
状等ヲ發出シ或ハ返還シ又ハ半途ノ請願命令
其他其審問中ノ訴訟ノ審問ニ屬スル處分ヲ為
シ或ハ命スル等ニ付テハ常ニ開廷中ト看做ス
可シ然シテ此等裁判所ノ判事ハ此等處分委任

司法省

半途ノ命令及ヒ其他ノ手續ノ差シ其裁判所ノ
規則及ヒ訴訟手續上當然之ヲ為スハキモノニ
係ル時ハ開期中ト開期中トフ間ハス原告人
ハ至當ノ報知ヲ為シタル上書記局若クハ判事
局ニ於テ之ヲ為シ命シ及ヒ執行スヘシ

第六條

又大審院ニ於テハ何時ニ依ラス合衆國ノ地方
裁判所巡回裁判所等ニ於テ使用發出ス可キ令
状及ヒ其他ノ處分状ノ書式又ハ此等ノ裁判所
ニ提起スル法律衡平法上ノ訴訟ト海上裁判所
ノ權内ニ屬スル訴訟トニ於ケル訴状願書答弁
書及ヒ其他ノ訴答弁論書等ノ書式及ヒ之ヲ作
成提供スルノ方法又ハ証拠書類ノ格式及ヒ之

ヲ徴収スルノ方途又ハ收復ヲ得ヒシム可キ處
分狀諸般ノ書式及ヒ其方途又ハ裁決各ヲ作成
シ簿冊ニ登記スルノ書式及ヒ其方法又ハ此等
ノ裁判所ヨリ命スル受托者ノ為ス可キ處分ノ
書式及ヒ其方法等ニ設制規定シ或ハ変換増減
シ又ハ此等ノ裁判所ニ於ケル訴答弁論及ヒ處
分等ノ延滞ヲ防遏シテ益々之ヲ容易簡約ナラ
シムル為メ此等裁判所ノ訴訟手續ノ全部ヲ改
正シ又ハ此等ノ裁判所ニ於ケル無益ノ費用入
費等ヲ廢棄スルノ權アル可シ

第七條

又前條ニ記載セル裁判所ニ於ケル訴訟及ヒ其
訴訟手續等ノ費用入費ヲ一層減少スルニ付テ

司法省

ハ大審院ニ於テ何時ニ依ラヌ此等ノ訴訟及ヒ
其訴訟手續等ノ訴訟入費ノ徴收并償等ニ関ス
ル此等裁判所ノ規則ヲ設制規定シ又ハ此等ノ
訴訟ニ於テ原被告人其代言人代訴人代弁人或
ハ裁判所ノ書記官或ハ地方ノ命令執行官其代
人其他証人或ハ其他ノ者ニ處分狀ヲ送達スル
官吏ニシテ通常訴訟入費中ニ其使役ノ手数料
ヲ徴收スヘキ者等ノ徴收スヘキ訴訟入費ノ諸
目ノ目錄ヲ設制規定スル等ノ權アルヘシ然レ
テ此等ノ裁判所ニ於ケル訴訟ニ於テハ其目錄
中ニ定メタル諸目ノ外ハ其訴訟入費トシテ徴
收スルヲ許サス但シ此等ノ入費ヲ規定スルニ
當テハ右官吏諸人等ノ遂行スヘキ職務使役等

ニ相当シテ可力及之ヲ減少スヘク又如何ナル
際ニ在テモ若シ現行法上規定スルモノアル時
ハ其規定レタル費用入費等ノ金高ヲ越エハカ
ラス

第八條

又尔後合衆國ノ巡回裁判所又ハ地方裁判所等
ニ於テ収復ヲ得セシメタル民事ノ訴訟ノ裁判
言渡ハ之レニ利息ヲ附スヘシ然シテ其利息ハ
其言渡ヲ為シタル巡回裁判所或ハ地方裁判所
ヲ開設セシ本州ノ法律上其州ノ裁判所ニ於テ
収復ヲ得セシメタル裁判言渡ニ付裁判執行状
ヲ以テ其利息ヲ徴収スルヲ得ヘキ際ニ於テ該
裁判所ヨリ發出スルト同一ノ裁判執行状ヲ以

司法省

テ命令執行官ヲシテ之ヲ徴収セシムルヲ得可
ク又其利息ノ計算ハ一年ニ付該州ノ法律上其
州ノ裁判所ニ於テ収復ヲ得セシメタル裁判言
渡ニ付テ規定スルモノト同一ノ比例ヲ以テ其
裁判言渡ノ日ヨリ起算スヘシ

千八百四十二年八月二十三日認可ス

○船員ノ給料ニ関シテ呼出シヲ為ス
事

第六條

總テ船員航海者タル者ハ苟クモ契約中別段約
定スルニアラサルヨリハ其航海中其船中ノ積
荷ヲ上陸シテ之ヲ引渡スヘキ各港ニ於テ自己
ノ附属スル船舶ノ船長若クハ指揮官ヨリ其延

滞スル給料ノ三分一ヲ討求領收スルノ權アル
可ク又其航海ヲ終リテ船賃ヲ引渡ス可キ最終
ノ港ニ於テ全ク之ヲ上陸シタル上ハ直チニ其
契約ニ依リ當時延滞スル給料ノ全部ヲ受クル
ノ權アル可シ若シ船員航海者ノ其給料ヲ討求
スルモ其船賃ヲ上陸シタル時ヨリ十日以内ニ
之ヲ弁償セス若クハ其給料ニ付船長ト船員若
クハ航海者トノ間ニ争論ノ起リタル時ハ其船
船所在地ノ地方ノ判事又ハ若シ其判事ノ住所
ノ其所在地ヨリ三「マイル」以外ニアルカ若クハ
其住所ノ地方外ニ外出シテ不在ナル時ニ當テ
ハ治安裁判官ヨリ其船ノ船長ヲ呼出シ之レニ
己レノ面前ニ出頭シテ其給料ノ抵当トシテ海

司法省

上裁判所ノ訴訟手續ニ從ヒ其船舶及ヒ船具綱
具器具等ニ對シテ處分狀ヲ發出スヘカラサル
所以ノ理由アルヤ否ヤヲ証明スヘキヲ命ス
ルヲ得ヘク若シ船長ノ其出頭ヲ為サス若クハ
出頭スルモ其給料ヲ弁償シ若クハ没收セシ
テ証明セスレテ且其争論ニ係ル條件ノ即時ニ
決定スヘカラサル時ハ判事或ハ治安裁判官ヨ
リ其地方ノ裁判所附属ノ書記官ニ海上裁判所
ノ處分狀ヲ發出スルニ足レ可キ告訴ノ充分ノ
理由アルヲ告知スヘシ然レ片ハ其告知ヲ受
ケタル書記官ヨリ其船舶ニ對シテ處分狀ヲ發
出スヘク然レテ其訴訟ヲ提起シタル上ハ該裁
判所ニ於テ海上裁判所ニ於ケル訴訟手續ニ從

テ其終審ノ裁判言渡ヲ為スヘシ又斯ル訴訟ニ
於テハ(苟クモ同一ノ船舶ニ對シテ同一ノ告訴
ノ原由ヲ有スル)船員航海者タル者ハ總テ相連
帶シテ告訴人ト為ル可ク又船長或ハ指揮官ハ
若シ其争訟ニ係ル某條件ヲ証明スル為メ求メ
テ受ケソル時ハ必ズ契約書航海日記等ヲ提供
スヘシ若シ本條ノ規則ニ背キタル時ハ告訴人
ハ其告訴ノ條件ヲ申明スルヲ許サズ又船長指
揮官ハ之ヲ以テ着テ曲者タルノ証拠ト為スヘ
シ但シ本條ノ規則ハ船員航海者等ノ其給料ヲ
收復スル為メ法律上ノ訴訟ヲ提起スルヲ禁
ズルモノニアラス又ハ未タ其給料ノ年償ヲ受
ケサル前自身ノ附屬セシ船舶ノ其航海ヲ終ハ

司法省

リタル最終ノ船貨引渡ノ港ヲ出帆シ若クハ其
船舶ノ其船貨ノ引渡ヲ為シタル後ヨリ十日ノ
満期前ニ更ラニ海上ニ向ケテ航行セントスル
際ニ在テハ何時ヲ問ハス其船舶ヲ發見スルヲ
以テ海上裁判所ノ裁判權ヲ有スル裁判所ニ告
訴シテ直テニ其處分ヲ受クルヲモ禁ズルモ
ノニアラス

千七百九十年七月二十日認可ス

○負債ノ為メ被告人ノ監禁ヲ廢棄ス
ル事

其訴訟ニ付負債ノ為メ被告人ノ監禁ヲ廢
棄スルノ決裁

爰ニ亞未利伽合衆國上下兩院ノ議諾ヲ以テ當

國會ニ於テ議決スルノ如シ
何人ニ依ラス諸州ノ法律上負債ノ為メ被告人
ノ監禁ヲ廢棄セシ本州ニ於テハ合衆國ノ裁判
所ヨリ登出スル處分狀ヲ以テ負債ノ為メ之ヲ
監禁スヘカラス又其法律上若干ノ制限ヲ以テ
負債ノ為メ被告人ノ監禁ヲ允許スル本州ニ於
テハ其制限ヲ合衆國ノ裁判所ヨリ登出スル處
分狀ニ適用スヘシ但シ其手續ハ其本州ノ裁判
所ニ於テ採用スルモノト同一タルヘシ
千八百三十九年二月廿八日認可ス
某訴訟ニ付負債ノ為メ被告人ノ監禁ヲ廢
棄スル決設ニ追加スルノ決議

司法省

國會ニ於テ議決スルノ如シ
千八百三十九年二月二十八日ノ認可ニ係ル某
訴訟ニ付負債ノ為メ被告人ノ監禁ヲ廢棄セシ
決議ハ諸州中若シ合衆國ノ裁判所ヲ開設ス可
キ本州ノ法律上負債ノ為メ被告人ノ監禁ヲ廢
棄シ若シハ將來廢棄スヘキ本州ニ在テハ如何
ナル訴訟ト虽モ合衆國ノ裁判所ヨリ登出スル
處分狀ヲ以テ負債ノ為メ被告人ヲ監禁スル
ヲ廢棄セシモノト解釈スヘシ
千八百四十一年一月十四日認可ス
負債ノ為メ被告人ノ監禁ヲ廢棄セシ國會
ノ諸種ノ決議ニ追加スルノ決議
爰ニ亞米利伽合衆國上下兩院ノ承諾ヲ以テ監

國會ニ於テ議決スルコト左ノ如シ

若シ合衆國ノ裁判所ヨリ發出スル半途ノ處分
狀ニ依リ其訴訟ノ被告人ノ逮捕セラレ若クハ
監禁セラレタル時ハ其地方ノ州裁判所ヨリ發
出セシ同一ノ處分狀ニ依テ逮捕セラレ若クハ
監禁セラレタル時ト同一ノ方法ヲ以テ其逮捕
監禁等ノ釈放ヲ受ケルノ權アル可シ然シテ其
釈放ヲ為スニハ之ヲシテ其本州ノ法律上定メ
タルモノト同一ノ誓約ヲ為サシメ且同一ノ報
知ヲ為ス可シ又諸州ノ法律上負債ノ為メ被告
人ヲ監禁スルニ付定メタル改正制限等ハ總テ
其州ニ開設スル合衆國ノ裁判所ヨリ發出スル
處分狀ニ適用スヘシ然シテ其手續ハ其本州ノ

司法省

裁判所ニ於テ採用スルモノト同一タルヘシ然
レモ斯ル手續ヲ行フニハ合衆國ノ巡回裁判所
ヨリ保釈証唇口唇等ヲ徵收スヘキ命ヲ受ケタ
ル委員官一名ノ面取ニ於テスヘシ
千八百六十七年三月二日認可ス

○公証人ノ事

公証人ヲシテ其訴訟ニ於ケル誓約保認兼
認等ヲ徵收查明セシムヘキコトヲ委認スル
ノ決議

爰ニ亞米利伽合衆國上下兩院ノ承諾ヲ以テ當
國會ニ於テ議決スルコト左ノ如シ

第一條

總テ合衆國ノ法律上諸州若クハ合衆國所領内

ノ治安裁判官ノ誓約保認義認等ヲ徴收スルヲ
得ハキ訴訟ニ於テハ爾後諸州若クハ所領内ニ
於テ至当ニ命セラレタル公証人モ亦此等ノ誓
約保認義認等ヲ徴收スルヲ得ハク然シテ之レ
ニ其公証人ノ署名シテ官印ヲ鈐シタル上ハ治
安裁判官ノ徴収セシモノト同一ノ効力アルヘ
シ又治安裁判官ノ此等誓約保認義認等ヲ徴收
スル時ニ當テ之ヲ為ス者ノ犯カシタル偽証又
ハ偽証ノ囑托等ヲ罰スルノ法律ハ然テ公証人
又ハ後捺ニ記載スル委員官等ノ之ヲ徴收スル時
ニ當テ犯カシタル犯罪ニモ亦之ヲ適用ス可レ
但シ通常此等犯罪ノ審問ニ於テハ唯々其公証
人ノ署名捺印ノミニテハ未タ以テ其公証人タ
ルノ資格ヲ証明スルニ足ラス必ス他ノ至當ナ
ル証拠ヲ以テ之ヲ証明スヘシ

司法省

第二條

又前條中公証人ニ委任セシ權力職權等ハ然テ
合衆國ノ裁判所ニ提起スル訴訟ニ付保釈証各
誓約書口供等ヲ徴收スヘキ委員官ノ撰定ヲ委
任スル國會ノ決議ニ從テ合衆國ノ巡回裁判所
ヨリ撰定シ若クハ將來撰定スヘキ委員官ニ示
之ヲ行フ得可シ

千八百五十年九月十六日認可ス

公証人ヲシテ其訴訟ニ於ケル誓約保認義
認等ニ徴收在明セシム可キヲ委任スル
決議ニ追加スルノ決議

爰ニ亞米利伽合衆國上下兩院ノ義諾ヲ以テ當國會ニ於テ議決スルト左ノ如シ

第一條

千八百五十年九月十六日ノ認可ニ係ル決議ヲ以テ諸州及ヒ所領内ノ公証人ニ委任セシ権力職權等ハ總テ可倫比亞地方内ノ公証人ニモ亦之ヲ委任ス

第二條

又總テ公証人タル者ハ保釋證書口書等ヲ徵收スハキ委任官ノ當時合法ニ之ヲ徵收スルト同一ノ方法ヲ以テ口供及ヒ其他合衆國ノ裁判所ニ於テ証拠トシテ使用スハキモノヲ徵收スルノ權アルヘク然シテ其口供及ヒ其他ノモノハ

司法省

總テ委任官ノ徵收セシモノト同一ノ効力アル可シ

千八百五十四年七月二十九日認可ス

○船主ノ責任ノ事

船主ノ責任ヲ制限シ及ヒ其他ノ目的ノ為メニ頒布スル決議

爰ニ亞米利伽合衆國上下兩院ノ義諾ヲ以テ當國會ニ於テ議決スルト左ノ如シ

第一條

總テ船主タル者ハ其船舶ノ火災ニ罹リテ為メニ其船中ニ積入レタル物品商品等ノ損失損害スルモ苟クモ其火災ノ船主ノ故意若クハ怠慢ヨリシテ發生シタル時ニアラサルヨリハ何人

ニ對シテモ敢テ其責ノニ任スルニ及ハス又ハ其損失損害等ヲ賠償スルニモ及ハス但シ此決議中ノ規則ハ他人ノ其所好ニ從テ船主ノ責任ヲ擴張或ハ減縮スヘキ契約ヲ為ストテ禁スルモノニアラス

第二條

又總テ白金、金、銀、金粉、金銀塊、其他高價ノ金屬、貨幣、寶玉、銀行政府等ノ手形、金剛石、及ヒ其他ノ高價ナル石類等ヲ船中ニ積入ル者ノ若シ其積入ヲ為ス時之ヲ領收スル船長或ハ其代人或ハ船主ニ書面ヲ以テ其物品ノ真正ナル性質ト價額トヲ報知セヌシテ積入レタルニ依リ其積荷目録ニ其性質ト價額トヲ記入セサル時ハ其船長船主等ハ一モ其運送者タルノ責メニ任スルニ及ハス又ハ此等高價ノ物品中其報知ヲ受ケテ積荷目録中ニ記入セレ價額外ニ上ル物品ニ付テモ亦敢テ其責メニ任スルニ及ハス

司法省

第三條

又總テ船長、官吏、航海者、旅客又ハ其他ノ者等ノ加ヘタル其船中ニ積入レタル財產物品、商品等ノ不慮ノ損失、或ハ毀損又ハ衝突ヨリシテ生シタル損失、損害、傷害又ハ船長ノ關係スルニアラズ若クハ明知スルニモアラズシテ為シタル所行若クハ發生シタル損失、損害、罰金等ニ付船主ノ負擔スヘキ責任ハ如何ナル際ニ在テモ船主ノ所有ニ屬スル其船舶ノ利益ト及ヒ當時受ク

可キ其船賃トノ價額以上ニ上ル可カラス

第四條

又若シ前條ニ記載セル不慮ノ損失毀損等ノ其
同一ノ航海ノ數名ノ船賃積入人或ハ物品、商品、
財産等ノ數名ノ所有主ノ損失ト为ルモノニ係
リテ其船舶ノ全價ト其航海ノ船賃トヲ以テ此
等數名ノ積入人或ハ所有主ニ其損失ヲ賠償ス
ルニ足ラサル時ハ各々其損失ノ比例ニ從テ船
主ヨリ賠償ヲ受クヘク此條ニ在テハ船長ヨリ
賠償スヘキ責任アル金高ヲ之ヲ受クヘキ人々
ノ間ニ分配スル為ノ船賃積入人、財産ノ所有主
又ハ船主ヨリ其分配ヲ請求スル訴訟ヲ裁判所
ニ提起スルヲ得可シ但シ船主ニ於テハ若シ其

司法省

討求者ノ利益トシテ己レノ所有ニ屬スル其船
ノ利益ト船賃トヲ之ヲ受クヘキ權アル者ノ受
托者トシテ至當ノ裁判權ヲ有スル裁判所ヨリ
命スヘキ者ニ推移セルニ於テハ此決議ノ規則
ヲ履行セシモノト着做スヘシ然ル上ハ其時ヨ
リ以後船主ニ對シテ提起スル討求訴訟等ハ總
テ之ヲ以テ停止スヘシ

第五條

又總テ船舶ヲ雇入ル者ノ若シ自身ノ費用ニ
依リ若シハ自身調理シテ其船舶ノ警守食料等
ヲ管理シテ航海ヲ为ス時ハ此決議上ニ於テハ
着テ其船ノ持主ト做ス可ク又其雇入ヲ受ケタ
ル船舶ハ其船主ノ之ヲ以テ航海ヲ为ス時ト同

一ノ方法ヲ以テ責任ヲ負擔スヘシ

第六條

又前數條中ノ規則ハ何人ニ依ラス船中ニ積入レタル物品商品其他ノ財産等ノ不慮ノ損害損失毀損等ノ為メ又ハ船長官吏航海者等ノ怠慢詐偽其他ノ不正行ノ為メ船長官吏或ハ航海者等ニ對シテ收復ヲ受ク可キ權アル者ノ其收復ヲ受クルノ權利ヲ收奪スルモノニアラス又ハ船長航海者等ノ其船ノ持主若クハ株主タルニ関セス現行ノ法律上規定スル責任ヲ減少シ或ハ廢棄スルモノニモアラス

第七條

又何人ニ依ラス船賃ヲ得テ諸人ノ船賃ヲ運送

司法省

スル船舶ニ綠礬油溶解セサル石炭燃燒シ易キ取火兎又ハ火藥等ヲ積入ル者ノ若シ其積入ラ為ス時書面ヲ以其商品ノ性質種類等ヲ船長副船長其他其船積ヲ管理スル者ニ報知セスシテ之ヲ積入ル時ハ午弗ノ罰金ヲ合衆國ニ徵收スヘシ

但シ其決議ハ堀割船脚船貨船ノ船主其他河川或ハ内國ノ航行上ニ使用スル各種ノ船舶ニハ之ヲ適用スヘカラス

千八百五十一年三月三日認可ス

〇證據ノ事

証人ノ適格ニ関シ及ヒ其他ノ目的ノ為メニ頒布スル決議

爰ニ亞米利伽合衆國上下兩院ノ義諾ヲ以テ當
國會ニ於テ議決スルト左ノ如シ
總テ法律衡平法上ノ訴訟又ハ海上裁判所ノ權
内ニ屬スル訴訟等ノ審問ニ付合衆國ノ裁判所
江召喚スル証人ノ適格ナルト否トハ其裁判所
ヲ開設スル本州ノ法律ニ從テ之レヲ決定スハ
シ

千八百六十二年七月十六日認可ス

其種ノ書類証卷登記等ノ謄本ヲ証拠トシ
テ受容ス可キヲ定ムルノ決議

爰ニ亞米利伽合衆國上下兩院ノ義諾ヲ以テ當
國會ニ於テ議決スルト左ノ如シ

總テ合衆國ノ領事副領事或ハ通商總代人等ノ

司法省

官衙ニ附屬シ或ハ提供シ或ハ保存スル公然タ
ル書類證書類又ハ此等官衙ノ簿冊記録等ノ公
然タル登記等ノ謄本ハ若シ其等領事副領事或
ハ通商總代人ノ署名捺印シテ之ヲ查明シタル
ニ於テハ合衆國ノ總テノ裁判所ニ於テ之ヲ證
據トシテ受容スハシ

千八百六十九年一月八日認可ス

司法省

司法省記録文庫

第八百八十八號
本三冊の内

本國海軍法 自第五十三号
至第七十六号

司法省

諸書式

左ニ記載スル諸種ノ書式ハ其一ニヲ除ク
ノ外ハ余ノ數年ノ間實際ニ使用セシ積累
セル書類中ヨリ拔萃セシモノナリ然シテ
其書中ノ地名人名及ヒ日附等ノ如キハ往
往之ヲ變換セシモノアリト雖モ其本文ニ
至テ唯々其原書中彼我異同アリテ之ヲ以テ
後未ノ先例ト爲スニハ其異同ヲ一定スル
トノ必要ナル主タル部分ノミヲ改正シテ
之ヲ一定セシニ過キス然レモ其章句ノ不
明瞭ニシテ徒ラ冗長ニ渉ルモノハ一層
簡單ニシテ明瞭ナラシムル爲メ之ヲ變換
セシモノモ亦少カラスト雖モ首クモ此等

司法省

此等ノ變換改正ヲ除クノ外ハ全ク余花ニ
其他諸人ノ實際ニ使用セシ先例ヲ掲載ス
ルモノナリ
爰ニ此等諸種ノ書式ヲ掲載スルニ當テハ
先ツ第一ニ海上裁判所ニ於ケル訴訟ノ書
式ヲ擧ケテ其起訴ノ時ヨリ終審ノ裁判ニ
至ルノ書式ヲ順次連續シテ掲載シ然ル後
之レニ附加シテ其他ノ必要ナル書式ヲ掲載
ス可シ

○救難料ノ爲メ船舶船貨等ニ對シテ提
起スル物權ニ関スル訴訟及ヒ禁制ノ
港ニ入來シタル船舶ノ沒收ノ爲メ其
船舶ニ對シテ提起スル訴訟等ノ書式

第一号

○救助ヲ為シタル船舶ノ船主船長等
ヨリ自身及ヒ其他ノ者ノ為メ其救
助ヲ受テタル船舶ニ對シテ救難料
ヲ討求スル訴訟ノ訴状

新約克州南部地方所在ノ合衆國地方裁判所ノ
判事サミウイル、アル、ベツズ氏貴下ニ呈ス

爰ニ新約克州附属ノ米國船タル兩桅船「ルシ
井ド」号ノ船主タルマツタル、ハルモ子一及ヒ其
船長タルイリハレット、キングスバレーノ兩名
ヨリ自身及ヒ其他本訴ニ付權利アル者ノ為メ
「ウ」号及ヒ其船具、綱具、器具、船貨等
ト共ニ此等ノ利益ヲ有スル諸人トニ對シテ民

司法省

事上ノ海上ニ関スル救難料ノ訴訟ヲ提起シ謹
ニテ左ノ諸件ヲ申明スルモノナリ

第一條

去ル八月二十八日右イリハレット、キングスバ
レーノ兩桅船「ルシ」井ド号ヲ以テキウバ島ノ
ハウアナヨリ西班牙ノカデツズニ向テテ航行
スルニ當リ一艘ノ帆桅ヲ挫折シテ海上ニ遺棄
セル船舶ヲ発見セリ依テ之ヲ牽引シテ船中ニ
乗入りシニ其船舶ハ全ク倫頓ノ英國船「ウ」
タルルウ号ニシテ其船艙ニハ己ニ十二「フ」井一
トノ海水流入シ其帆桅ハ全ク挫折シテ一本ノ
存留スルモノナク全ク其船將船負等ノ遺棄セ
シモノナリト認定セリ然シテ船中ニ於テハ一

ノ書類ヲ発見セスト虽モ糖水酒砂糖其他西印度ノ産物等ノ充ギナル船賃ヲ発見セシ

第二條

依テイリハレツト、キンクスバルクハ右ウラ一タルルウ号ニ挽綱ヲ附シテ新約克州ノ港ニ向ケテ進行シ當九月十二日ヲ以テ其船舶ト共ニ該港ニ到着セシト及ヒ兩桅船ノ船賃ハ右船舶ノ海水ヲ汲出シ及ヒ其他ノ使役ヲ為スタノ大ニ勞カヲ費シタルニ依リ其報償トシテ右船舶船賃等ノ救難料ノ至当ノ分配ヲ受タルノ權アル

第三條

司法省

前條中ニ申明セルモノハ總テ眞実タルト然シテ合衆國ノ海上航海ノ裁判權内ニ属スルモノニシテ全ク當裁判所ノ權内ニ属スルト前條ノ事情アルヲ以テ原告人ニ於テハ當裁判所ノ海上航海ノ裁判權内ニ属スル訴訟ニ関スル訴訟手續ニ從ヒ右船舶ウラ一タルルウ号及ヒ其船具、綱具、器具、船賃等ニ對シ法律上定メタル至当ナル書式ノ唱出状ヲ發出シテ此等ノ利益ヲ有スル諸人ニ當裁判所ト出廷シテ誓約ノ上前條ニ申明セル諸件ノ答弁ヲ為ス可キヲ命令セラレントヲ願ヒ保セテ當裁判所ニ於テ原告人ノ右船舶ノ價額ニ相当スル至当ノ救難料ヲ受クルノ權アルトテ裁決シテ其救難料ト及ヒ訴訟入費、手数料、費用トノ弁償ニ充ツル為メ

右船舶及ヒ其船具、網具、船貨等ヲ收奪シテ之ヲ
賣却ニ附セラレシトト其他前條中ニ申明セル
諸件ニ付法律正理上原告人ノ受タルノ権アル
補助ヲ與ヘラレシトトヲ願フ

ペツタル、ハルモ子一

イリハレット、キンクスバレー

右代訴人

イサツク、イ、ジヨソソ

右代言人

イ、シ、ベ子デツクト

新約克州ノ南部地方所在

亜米利伽合衆國地方裁判所内

海上裁判所

司法省

千八百二十九年九月十六日余ノ面前ニ於テ
正ニ誓約ヲ為スモノナリ

書記官

フレッド、ゼイ、ベツグ

〔第二号〕

○原告人ヨリ訴状ヲ呈致スル時為ス
可キ訴訟入費ノ保證

當裁判所ノ規則ト訴訟手續トニ從テ訴
訟入費ノ保證ヲ簿冊ニ登記スルト左ノ如
シ

爰ニペツタル、ハルモ子一及ヒイリハレット、キ
ンクスバレーノ兩名ヨリウヲ一タルルウ号ノ
船舶及ヒ其船具、網具、器具、船貨等ニ對シ千八百

二十九年九月十六日ヲ以テ当裁判所ニ訴状ヲ
呈致シ状中記載スル理由條件ノ為ノ此等ノ船
舶、船具、網具、器具、船貨等ヲ收奪シ之ヲ賣却ニ附
シテ原告人ノ請願ニ充テラレニテ請願シ然
シテ原告人ト及ヒ原告人、證人タルゼヨルガ、ジ
ヨンスト相共ニ若シ原告人若クハ證人ニ於テ
過失アルカ若クハ裁判所ノ命令ニ違背スル
アルニ於テハ物品賤器及ヒ其地所等ニ對シ處
分状ヲ發シテ二百五十弗ノ金高ヲ徴收セラ
ル、モ毫モ異議アラサルヲ承諾ス
依テ下名ノ保證者一同相共ニ右二百五十弗ノ
金高ヲ担保トシテ右原告人等ノ当裁判所ヨリ
又若シ控訴ヲ為シタル時ハ控訴裁判所ヨリ并
償ヲ命ス可キ訴訟入費ヲ并償ス可キヲ正ニ
承諾約定スルモノナリ

司法省

マツタル、ハルモ子
イリハレット、キンクスバレー
ゼヨルガ、ジヨンス

新約克州ノ南部地方所在

合衆國地方裁判所

千八百二十九年九月十六日余ノ面前ニ於テ
正ニ約定承諾スルモノナリ

書記官

フレット、ゼイベツズ

第三号

○ 證人ノ辨明書

爰ニ右保證ノ證人タル新約克府ノ商人ゼラル
チ、ジヨニス、至当ノ誓約ヲ為シタル上其住所ハ
該府ノ新街二十一番地ニ在リ新約克州南部地
方中ノ家主ニシテ其總テノ負債ヲ弁償スルモ
尚ホ五百弗ノ金高ヲ弁償スル足ル可キ資力ヲ
有スルヲ陳供証明スルモノナリ

ゼラルヂ、シヨニス

一千八百二十九年九月十六日余ノ面前ニ於
テ正ニ誓約ヲ為スモノナリ

書記官

フレッド、セイ、ベツス

第四号

○前号ノ訴状ヲ受理シタル後船舶船

司法省

賃等ヲ押封シ且昭出ヲ為ス可キ
ヲ命スル令状

鈴印ノ場所

原告人ノ代訴人

イサツク、イ、ジヨニン

爰ニ亞米利伽合衆國ノ大統領謹ニテ新約克州
南部地方ノ命令執行官ニ命ス
千八百二十九年九月十六日ヲ以テマツタル、ハ
ルモ子一及ニ其他ノ者ヨリウヲ一タルル号
ノ船舶及ニ其船具、網具、器具、船賃等ニ對シ新約
克州ノ南部地方所在ノ合衆國地方裁判所ニ訴

状ヲ呈致シテ状中ニ記載スル理由條件ノ為ノ
民事上ノ海上ニ関スル救難料ノ訴訟ヲ提起シ
之ヲ以テ裁判所ヨリ通常ノ召出状ヲ發シテ此
等ノ船舶、船具、網具、器具、船貨等ノ利益ヲ有スル
諸人ヲ一同若クハ各自ニ召出シ之ヲシテ訴状
中ニ記載スル諸件ノ答弁ヲ為サシメ且其他諸
般ノ手續ヲ尽シタル上此等ノ船舶ヨリ船貨ニ
至ル迄之ヲ收奪シテ賣却ニ附シ之ヲ以テ原告
人ノ討求ニ充ツ可キヲ請願セリ

司法省

由ヲ明知シ若クハ其所以ヲ証明ス可キモノヲ
有スル者ト若シ来ル十月第一火曜日ノ若シ開
廷日タル時ハ当日ノ午前十一時ヲ以テ若シ又
同日ノ開廷日ニアラサル時ハ次期ノ開廷日ヲ
以テ右新約克州南部地方開設ノ裁判所ト出廷
シテ右船舶等ニ付討求弁解ヲ為ス可キヲ報
知ス可ク然シテ此等ノ押封報知等ヲ為シタル
上ハ此令状ト共ニ其復命ヲ為ス可シ此旨足下
ニ命スルモノナリ

千八百二十九年即チ我カ獨立後五十六年ノ九
月十六日ヲ以テ右新約克南部地方ノ新約克府
所在ノ右裁判所ノ判事サミクイル、アル、ベツズ
氏之ヲ証ス

新約克州ノ南部地方所
在
合衆國地方裁判所

書記官

フレッド・ゼイ、ベッス

第五号

○訴状ノ要畧ヲ公告スル報知書

原告人ノ代訴人

イワツク、イ、ジヨシソン

爰ニ千八百二十九年九月十六日ヲ以テ原告人
タル兩桅船「メルシ井」号ノ船主「マツタル、ハル
モ子」ト船長「イワハレット、キンクスバルクト
ノ兩名」ヨリ「ウラートル」号ノ船舶及ヒ其船
具、網具、器具、船賃等ニ對シ新約克州南部地方所

司法省

在ノ合衆國地方裁判所ニ訴状ヲ呈致シ之ヲ以
テ去ル八月二十八日右「イワハレット、キンクス
バル」ノ右兩桅船「メルシ井」号ヲ以テ「ハウア
ナヨリ」カデツズニ向ケテ航行スルニ當リ倫頓
附屬ノ英國「ウラートル」号ヲ発見シテ其船
中ニ乗入りシニ、其船艙ニハ己ニ十二「ロート」以
上ノ海水流入シ其帆桅ハ全ク挫折シテ一本ノ
存留スルモノナク全ク其船將船負等ノ遺棄セ
シモノト認定セシ「一」及ヒ船中ニハ「一」ノ書類ヲ
モ発見セスト「蚕」モ「糖水酒、砂糖其他西印度ノ産
物等」ノ充分ナル船賃ヲ発見セシ「一」依テ右船舶
ニ拽綱ヲ附シテ當九月十二日ヲ以テ新約克州
ノ港ニ到着シ然シテ右兩桅船ノ船負ハ右船舶

ノ海水ヲ汲出シ及ヒ其他ノ使役ヲ為スタソ大
ニ勞カヲ費シタルニ依リ其報償トシテ右船舶
船賃等ノ救難料ノ至当ノ分配ヲ受クルノ權ア
ルト等ヲ申明シ然シテ右船舶船賃等ニ對スル
召出狀ヲ發出シテ至当ノ救難料ヲ判定シタル
上右船舶及ヒ其船具、網具、器具、船賃等ヲ收奪シ
之ヲ賣却ニ附シテ其救難料ト及ヒ本訴ノ入費
手數料費用等ノ弁償トニ充テラレシトテ請願
セリ

依テ余ハ爰ニ右裁判所ヨリ領收セル鈐印ノ令
狀ニ從ヒ右船舶及ヒ其船具、網具、器具、船賃等ヲ
討求スル諸人並ニ此等ノ利益ヲ有スル人々ハ
未ル十月第一ノ火曜日午前十時ヲ以テ(若シ

司法省

当日開廷日アラサル時次期ノ開廷日ヲ以テ新
約克州南部地方ノ新約克府開設ノ右裁判所ニ
出廷シテ右船舶等ニ付討求弁解ヲ為ス可シ此
旨公告スルモノナリ

千八百二十九年九月十六日

新約克州ノ南部地方所在

亞米利伽合衆國地方裁判所

合衆國ノ命令執行官

トヲマスモルリス

第六号

○余令執行官ノ右令狀ノ復命書

余ハ封人ノ令狀ニ從ヒ去ル九月十六日ヲ以テ
令狀中記載アル船舶船賃等ヲ押封シ且之ヲ討

求スル諸人ニ若シ当十月五日(若シ当日裁判所
ノ開廷日ニアラサル時ハ次期ノ開廷日)ヲ以テ
右船舶ニ付討求ヲ为サ、ルニ於テハ当裁判所
ニ於テ其審問ヲ为シタル上之ヲ收奪ス可キ
ヲ報知セリ此旨復命スルモノナリ
千八百二十九年十月五日

合元國ノ命令執行官

トヤマヌモルリス

第七号

○物権ニ関スル訴訟ノ昭出状ノ復命
ヲ为シタル後掲示スル告示書

諸君ヨ諸君爰ニベツタルハルモ子トイリハ
レット、キニクスバレートノ兩名ヨリウヲ一タ

司法省

ルルウ号ノ船舶及ヒ其船具、網具、器具、船貨等ニ
對シテ訴訟ヲ提起ス依テ何人ニ依ラヌ右船舶
船具、網具、器具、船貨等ヲ收奪シ之ヲ賣却ニ附シ
テ原告人ノ請願ニ充ツ可カラサル所以ノ理由
ヲ申明セントスル者ハ当裁判所ニ出廷シテ其
弁解ヲ为ス可キモノナリ

第八号

○物権ニ関スル訴訟ノ半途ノ昭出状
ノ復命ヲ为シタル後裁判所ヨリ为
ス可キ命令

爰ニ命令執行官ハ本訴ニ付發出セル令状ニ從
ヒ状中記載セル船舶、船具、網具、器具、船貨等ヲ押
封シ且之ヲ討求スル諸人ニ若シ其討求ヲ为サ